



2023年6月期(第8期)決算説明資料

August 10, 2023

いちごグリーンインフラ投資法人(9282)
Ichigo Green Infrastructure Investment Corporation
いちご投資顧問株式会社
Ichigo Investment Advisors Co., Ltd.





Make More Sustainable

サステナブルインフラの「いちご」



日本を世界一豊かに。

私たちは、人々の豊かな暮らしを支える「サステナブルインフラ企業」です。

いちご社員
三宅 宏実

 サステナブルインフラ
いちご (プライム 2337)
ICHIGO



目次

□ いちごグリーン [®] の社会的使命	6	□ いちごグループ [®] の強みを活かした成長戦略	25
□ 2023年6月期 運用実績	7	✓ スポンサー サステナブルインフラの「いちご」	26
✓ ポートフォリオ概要	8	✓ いちごグリーンとスポンサのシナジー	27
✓ 10か年長期業績予想の進捗状況	9	✓ いちごグループによるクリーンエネルギー事業の全国展開	28
✓ 決算ハイライト	10	□ ESG(環境・社会・ガバナンス)へのコミットメント	29
✓ 決算内訳	11	✓ いちごのサステナビリティ方針	30
✓ 2023年6月期トピックス	12	✓ いちごグループにおけるESGの取り組み	31-35
✓ 出力制御の実施状況	13	□ ポートフォリオの状況	36
✓ いちご名護二見ECO発電所におけるパネル不具合の対応状況	14	✓ 全国に分散した発電所	37
✓ 発電実績(P50ベース予想比)	15	✓ 2023年6月期 発電実績(対前年比)	38
✓ 発電実績(個別発電所)	16	✓ 2023年6月期 個別発電所の収益	39
✓ 財務状況	17	✓ 2024年6月期 予想発電量	40
✓ 2024年6月期 分配金予想	18	✓ 発電所一覧	41
✓ 「いちご」リーグ株主・投資主優待」制度	19	✓ 個別発電所の概要	42-49
□ 投資主価値の最大化に向けた取り組み	20	□ Appendix	50
✓ オペレーターによる最低賃料保証	21		
✓ 各発電所の気候や地形に対応した設計による高効率発電	22		
✓ 高度技術に支えられたオペレーション	23		
✓ 世界トップクラスの透明性を有するリアルタイム開示	24		

いちごグリーン[®]の社会的使命

- わが国のグリーンエネルギー自給への貢献
- 「グリーンインフラ」という新たなアセットタイプの投資機会を提供

■ いちごグリーン(9282)の特長

安定性と成長性	<ul style="list-style-type: none">・ FIT(固定価格買取制度)により売電価格が20年間固定された太陽光発電所に投資・ 堅固な発電所と統合監視等のオペレーションによる長期安定運用・ 発電所は北海道から沖縄まで全国各地に所在し、地域分散投資を実現・ オペレーターの保証による収益のさらなる安定性確保
いちごグループの強みを活用	<ul style="list-style-type: none">・ 発電所のオペレーターは、全国で64か所(風力発電所を含む)の発電所を開発、運営実績を有するいちごECOエナジー・ いちごグリーンの資産運用会社は、いちごオフィス(8975)、いちごホテル(3463)等の運用受託による豊富な運用実績を有する
投資主価値の最大化	<ul style="list-style-type: none">・ 発電所の設備は減価償却の対象であるため、発電所の現金収入が減価償却後の会計上の利益を大きく超えていることから、現金収入を積極的に「利益超過分配金」として投資主に還元

2023年6月期 運用実績

ポートフォリオ概要

(2023年6月30日現在)

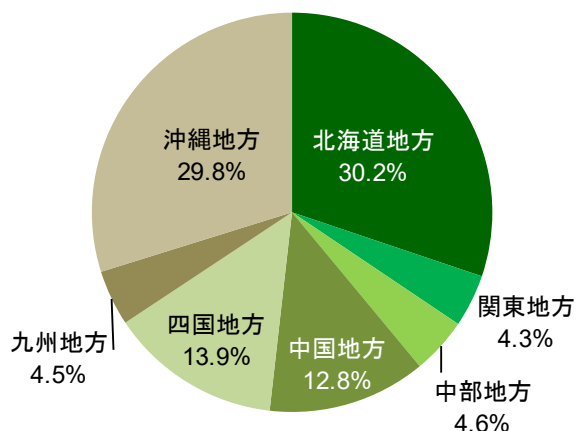
保有発電所数	発電所取得価格合計	パネル出力合計
15	114億円	29.43MW
売電価格 (/kWh) (平均)	CO2削減量	世帯数換算年間発電量
38.7円	15,839トン	10,660世帯

※ CO2削減量は、各発電所の想定年間発電量(2023年7月~2024年6月)を前提とした化石燃料火力発電対比による削減量(年間)

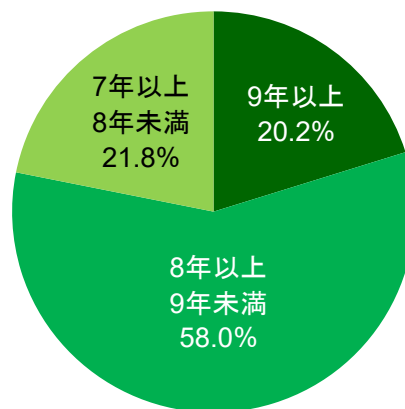
※ 世帯数換算年間発電量は各発電所の想定年間発電量(2023年7月~2024年6月)を前提とし、1世帯当たりの年間消費電力を3,000kWhとした場合の試算値

(取得価格ベース)

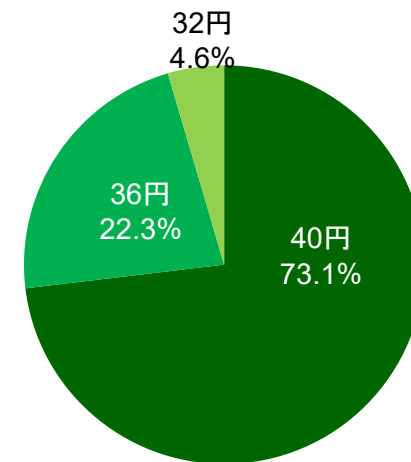
■ 地域別分散状況



■ 稼働年数別分散状況



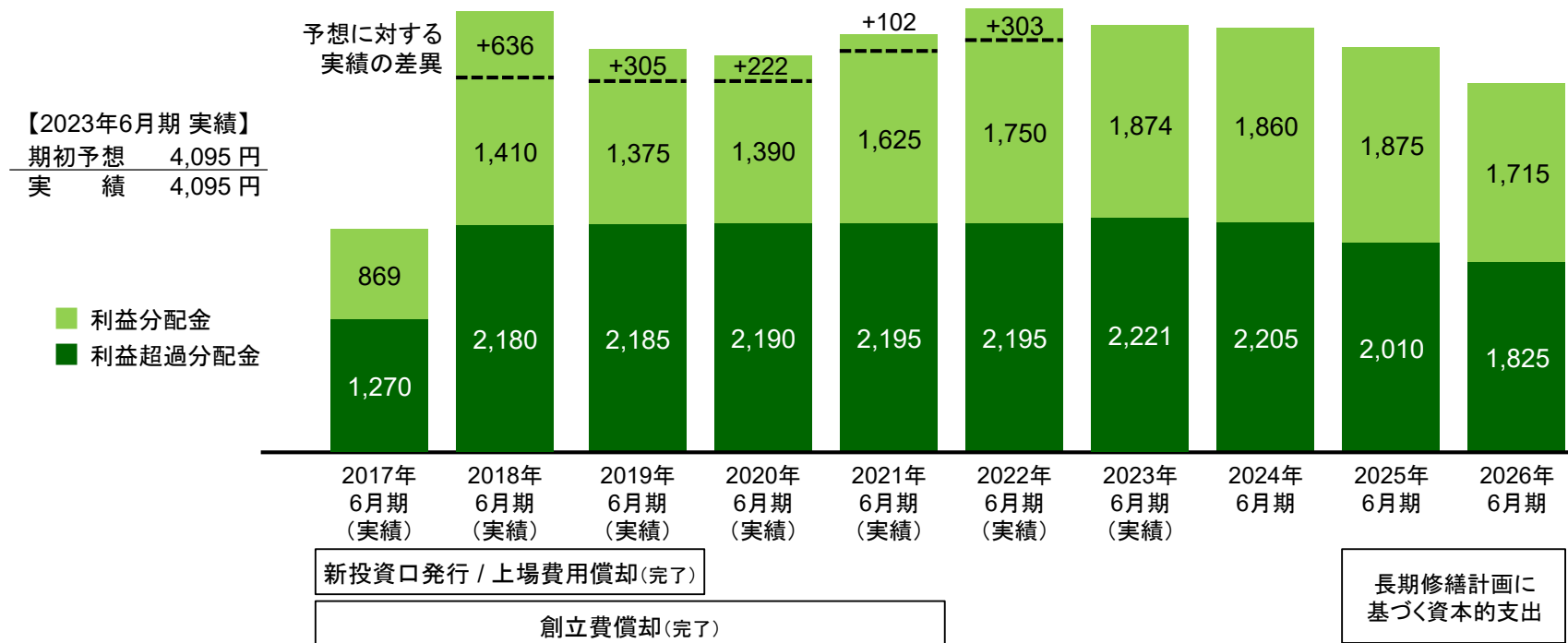
■ 売電価格別分散状況 (1kWh当たり、税別)



10か年長期業績予想の進捗状況

10か年予想も7年が経過し、予想以上の分配金実績を達成

(単位:円)	実績							予想		
	2017年 6月期	2018年 6月期	2019年 6月期	2020年 6月期	2021年 6月期	2022年 6月期	2023年 6月期	2024年 6月期	2025年 6月期	2026年 6月期
1口当たりFFO(現金収入)	4,305	8,560	8,197	8,001	8,039	8,251	8,072	8,136	8,253	8,211
1口当たり分配金	2,139	4,226	3,865	3,802	3,922	4,248	4,095	4,065	3,885	3,540



※ 2017年12月31日を基準日、2018年1月1日を効力発生日とし、投資口1口を2口に分割

※ 2017年6月期(運用開始日は資産取得日である2016年12月1日につき、実質的な運用期間は7か月間)の実績については、投資口分割を考慮し、2分の1の金額を表示

決算ハイライト

	2023年6月期実績	説明
発電量	3,302万kWh (期初予想比 -2.2%)	<ul style="list-style-type: none"> 名護二見、都城安久町では予想発電量を下回るも、地域分散効果により発電量への影響は限定的
営業収益	1,048百万円 (期初予想比 -16百万円)	<ul style="list-style-type: none"> 期初予想比 -1.6% 発電量の減少の影響は基本賃料の保証により限定的
当期純利益	193百万円 (期初予想比 -4百万円)	<ul style="list-style-type: none"> 営業収益の減少をカバーしきれず
1口当たり分配金	4,095円 (期初予想比 ±0円)	<ul style="list-style-type: none"> 減価償却費を原資とする手元資金を活用し予想どおり分配 利益超過分配金 2,221円 (期初予想比+21円、+1.0%)
1口当たりFFO (現金収入)	8,072円 (前期比 -179円)	<ul style="list-style-type: none"> 売電収入を裏付けとした現金収入は、分配金の2.0倍

※ 1口当たり当期純利益、1口当たり分配金、1口当たりFFOはそれぞれ期末時点の発行済投資口数(102,966口)で除して算出

※ NOI (Net Operating Income) = 賃貸事業収益 - 賃貸事業費用

※ FFO (Funds From Operations) = (当期純利益 + 減価償却費 + 創立費償却 + 投資口交付費償却 + 開業費償却 - 資産売却益 + 資産売却損 - 特別利益 + 特別損失)

決算内訳

- 地域による発電量の強弱があり、全体の発電量合計は予想を若干下回る
- 分配可能な減価償却費のキャッシュを活用し、分配金は予想どおり

(単位:百万円)

	2022年6月期 実績	2023年6月期 予想	2023年6月期 実績	達成率	予想比
営業収益	1,083	1,065	1,048	98.4%	-16
営業費用	807	805	794	98.7%	-10
（うち減価償却費）	637	641	638	99.5%	-3
営業利益	276	260	254	97.5%	-6
経常利益	212	198	194	97.9%	-4
当期純利益	211	197	193	97.9%	-4
1口当たり分配金	4,248円	4,095円	4,095円	100.0%	-
（うち利益分配金）	2,053円	1,895円	1,874円	98.9%	-21円
（うち利益超過分配金）	2,195円	2,200円	2,221円	101.0%	+21円
発電所数	15発電所	15発電所	15発電所	-	-
発電量	3,409万kWh	3,377万kWh	3,302万kWh	97.8%	-74万kWh

□ ポートフォリオの発電量合計が予想を下回る(予想比-2.2%)

要因分析

✓ 天候不良

－ 年度により強弱があり、上場以降の累計では予想を上回る発電量

✓ 出力制御:

－ 対象地域も拡大傾向にあり、2023年3～5月は想定以上の頻度で出力制御が行われる

－ オンライン制御ユニットに切り替え、逸失発電量を最小化する対策を実施

✓ いちご名護二見のパネル不具合: パネルメーカーの保証対象

－ 発電量の低下(10%～20%)が見受けられるため、パネル交換を検討

□ 一般社団法人上場インフラファンド協議会設立(2023年3月)

✓ 上場インフラファンドの資産運用会社が参画し、業界団体を設立

✓ 今後のインフラファンドの拡大・発展と上場インフラファンド市場の健全な発展に寄与することが目的

出力制御の実施状況

出力制御時の逸失発電量低減を目的に、オンライン出力制御を順次導入

- ✓ 2022年12月に四国(伊予・高松)、2023年7月に中部(豊川)で導入し、これまでに7地域(15発電所)中、4地域(6発電所)にて導入済み
- ✓ 出力制御の実施回数は増えているものの、逸失発電量低減に貢献
- ✓ 今後、沖縄、北海道でオンライン出力制御装置の設置工事を予定

発電所	電力管轄	2023年6月期												合計	2022年6月期 (前期実績)	
		2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06			
いちご桐生奥沢 (内代理制御実施日数)	東京電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちご元紋別 (内代理制御実施日数)	北海道電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちご室蘭八丁平 (内代理制御実施日数)	北海道電力	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
いちご遠軽清川 (内代理制御実施日数)	北海道電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちご伊予中山町出淵※1 (内代理制御実施日数)	四国電力	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (1)	6 (1)	4 (1)	2 (1)	13 (4)	2	
いちご中標津緑ヶ丘 (内代理制御実施日数)	北海道電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちご安平遠浅 (内代理制御実施日数)	北海道電力	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
いちご豊頃 (内代理制御実施日数)	北海道電力	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
いちご名護二見 (内代理制御実施日数)	沖縄電力	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3	0	
いちご遠軽東町 (内代理制御実施日数)	北海道電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちご高松国分寺町新居※1 (内代理制御実施日数)	四国電力	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (1)	5 (2)	4 (1)	3 (1)	14 (5)	2	
いちご都城安久町※1,※2 (内代理制御実施日数)	九州電力	0	0	1	1	1	0	2	3	16	15	13	3	55	18	
いちご豊川御津町佐脇浜 (内代理制御実施日数)	中部電力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちご山口秋穂西※1 (内代理制御実施日数)	中国電力	0	0	0	1 (1)	0	0	0	0	4 (2)	13 (4)	9 (4)	3 (2)	30 (13)	1	
いちご山口佐山※1 (内代理制御実施日数)	中国電力	0	0	0	1 (1)	0	0	0	0	2 (2)	15 (9)	13	5	36 (12)	1	

※1 各エリアの一般送配電事業者(電力会社等)によるオンライン出力制御装置を利用したオンライン出力制御の対応発電所であり、対応発電所は、一般送配電事業者より時間単位で出力制御を要請されます。

※2 都城安久町の2023年4~6月については代理制御(※)分を含みます。

※3 代理制御とは、出力制御を実施する際に、オフライン制御事業者が本来行うべき出力制御をオンライン制御事業者が代わりに実施し、後日金銭で精算する仕組み。

※4 同日に出力制御・代理制御が実施されている場合も含みます。

いちご名護二見ECO発電所におけるパネル不具合の対応状況

半分のパネルにおいて不具合を確認

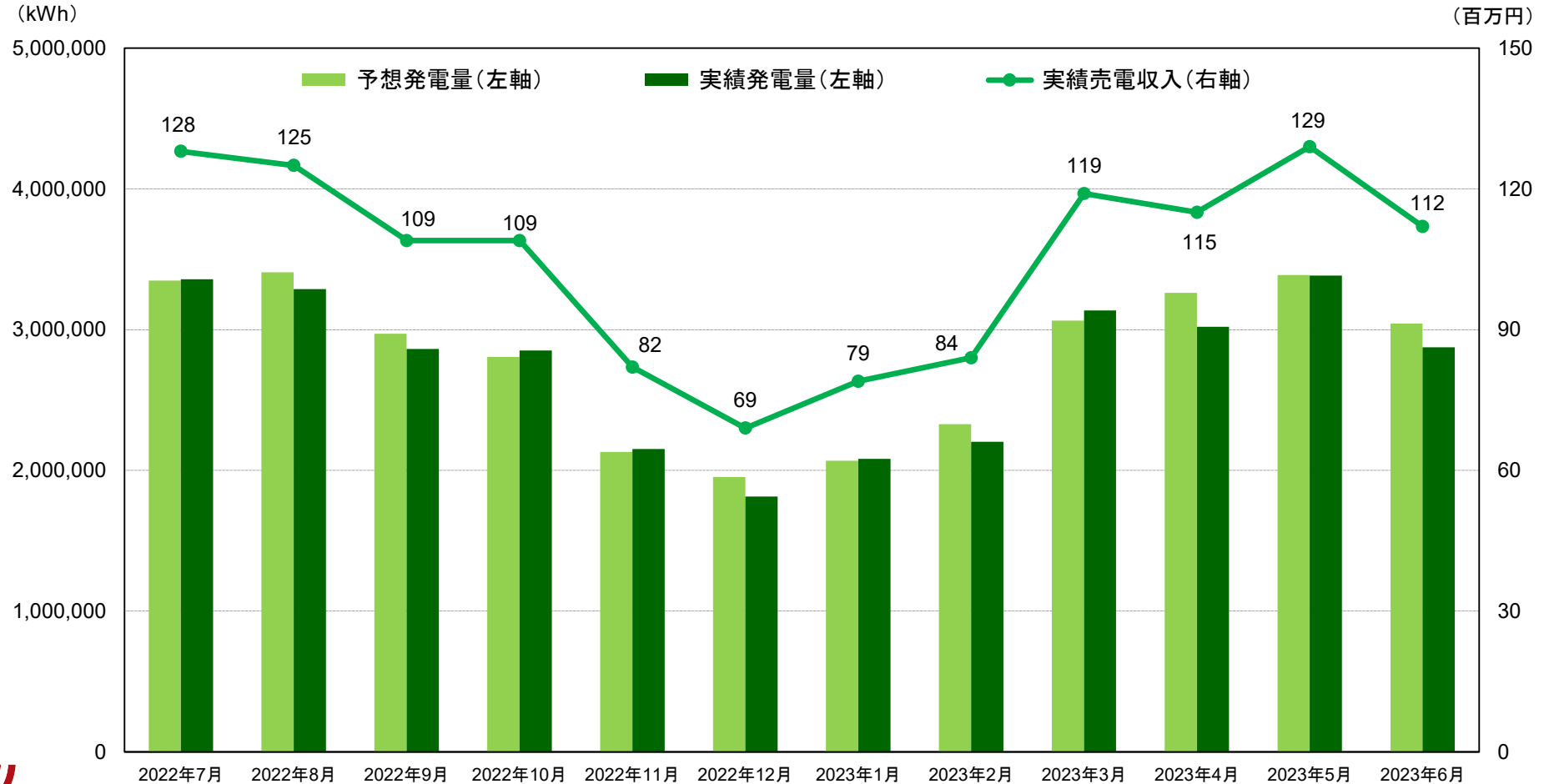
- ✓ 2つのメーカーのパネルを使用(東芝約47%、インリー約53%)。インリー製パネルにて不具合が発生
- ✓ メーカーと保証履行に関して協議を行い、代替品の納品ではなく金銭での精算をすることで合意
- ✓ 本件不具合による発電量の低下は、PID※が原因で、現状以上悪化することのない事象
- ✓ オペレーターよる基本賃料の賃料保証もあることから、業績への影響も限定的
- ✓ 中長期的な発電量のアップサイドが享受できるよう、パネル交換を検討中
- ✓ パネル交換を実施する場合も公表している分配金予想は維持を前提

※ PID (potential-induced degradation) : 太陽光パネルに特定の条件や状況で高電圧がかかった際に発生する出力低下現象

発電実績 (P50ベース予想比)

期末時点のポートフォリオ全体の発電量はP50ベース予想比 -2.2%

■ 発電量と売電収入の推移 (15発電所)



※ 売電収入は、電力会社より発電事業者である賃借人 (SPC) が収受する収入

※ 相対的に予想 / 実績ともに発電量は9月～翌2月 (秋冬期) および6月 (梅雨) が低く、3月～8月 (春夏期) が高い傾向

発電実績(個別発電所)

No.	発電所名	予想発電量(A) (kWh、12か月)	実績発電量(B) (kWh、12か月)	差異(B-A) (kWh)	売電収入 (千円)	営業収益 (千円)
E-01	いちご桐生奥沢ECO発電所	1,525,433	1,583,339	+57,907	61,203	45,233
E-02	いちご元紋別ECO発電所	1,524,534	1,640,092	+115,558	64,118	50,981
E-03	いちご室蘭八丁平ECO発電所	1,416,851	1,485,129	+68,279	57,874	45,747
E-04	いちご遠軽清川ECO発電所	1,204,118	1,252,547	+48,429	49,471	38,327
E-05	いちご伊予中山町出渕ECO発電所	1,397,794	1,362,617	-35,177	54,906	43,819
E-06	いちご中標津緑ヶ丘ECO発電所	2,192,494	2,315,810	+123,316	90,126	75,866
E-07	いちご安平遠浅ECO発電所	1,295,274	1,358,916	+63,642	54,266	43,604
E-08	いちご豊頃ECO発電所	1,265,634	1,221,399	-44,235	48,137	39,090
E-09	いちご名護二見ECO発電所	9,497,315	8,193,458	-1,303,857	333,729	297,483
E-10	いちご遠軽東町ECO発電所	1,323,359	1,305,778	-17,581	50,945	41,262
E-11	いちご高松国分寺町新居ECO発電所	3,006,364	3,019,732	+13,367	108,023	97,317
E-12	いちご都城安久町ECO発電所	1,693,446	1,512,948	-180,498	54,499	43,654
E-13	いちご豊川御津町佐脇浜ECO発電所	2,128,413	2,196,729	+68,316	69,758	45,614
E-14	いちご山口秋穂西ECO発電所	1,469,797	1,471,125	+1,328	59,732	48,053
E-15	いちご山口佐山ECO発電所	2,830,766	3,108,809	+278,043	110,200	92,748
合計		33,771,592	33,028,429	-743,163	1,266,993	1,048,805

※ 営業収益＝売電収入－発電所の運営費用(メンテナンス費用、地代、保険料など)

財務状況

長期借入金はすべて金利スワップにて金利を固定化

■ 借入金の内訳

(2023年6月30日時点)

借入金	借入先	借入残高 (百万円)	借入金利	金利 種別	借入日	返済期日	借入 期間
タームローンⅠ	みずほ銀行、三井住友銀行	4,049	0.760%	固定	2016年12月1日	2026年11月30日	10年
タームローンⅡ	みずほ銀行	303	0.815%	固定	2017年7月3日	2027年6月30日	10年
タームローンⅢ	山口銀行	638	0.815%	固定	2017年7月3日	2027年6月30日	10年
合計		4,990	0.770%	(加重平均)			

※ 借入金利は、金利スワップ契約の締結により、返済期日まで実質的に固定された金利を記載

※ 平均金利は加重平均による数値の小数点以下第4位を四捨五入して記載

■ 期末LTV(想定)の推移

2017年 6月期 (実績)	2018年 6月期 (実績)	2019年 6月期 (実績)	2020年 6月期 (実績)	2021年 6月期 (実績)	2022年 6月期 (実績)	2023年 6月期 (実績)	2024年 6月期	2025年 6月期	2026年 6月期
57.4%	58.5%	57.8%	57.8%	57.2%	56.4%	55.8%	54.7%	53.7%	52.3%

■ 有利子負債÷FFO(想定)の推移

2017年 6月期 (実績)	2018年 6月期 (実績)	2019年 6月期 (実績)	2020年 6月期 (実績)	2021年 6月期 (実績)	2022年 6月期 (実績)	2023年 6月期 (実績)	2024年 6月期	2025年 6月期	2026年 6月期
15.5倍	8.1倍	8.0倍	7.7倍	7.1倍	6.6倍	6.0倍	5.4倍	4.8倍	4.3倍
借入金 残高 6,858百万円	7,160百万円	6,733百万円	6,309百万円	5,875百万円	5,438百万円	4,990百万円	4,543百万円	4,090百万円	3,636百万円



借入金
残高

2024年6月期 分配金予想

2024年6月期の予想1口当たり分配金は4,065円(前期実績比-0.7%)

(単位:百万円)

	2022年6月期 実績	2023年6月期 予想	2023年6月期 実績	2024年6月期 予想
営業収益	1,083	1,065	1,048	1,059
営業費用	807	805	794	806
（うち減価償却費）	637	641	638	643
営業利益	276	260	254	253
経常利益	212	198	194	194
当期純利益	211	197	193	193
1口当たり分配金	4,248円	4,095円	4,095円	4,065円
（うち利益分配金）	2,053円	1,895円	1,874円	1,860円
（うち利益超過分配金）	2,195円	2,200円	2,221円	2,205円
発電所数	15発電所	15発電所	15発電所	15発電所
発電量	3,409万kWh	3,377万kWh	3,302万kWh	3,359万kWh

「いちごJリーグ株主・投資主優待」制度

□ 2つの日本初となる優待制度

- ① 株主・投資主の合同優待（4発行体の総対象人数 約76,000名）
- ② Jリーグの全クラブと全試合が対象

□ いちごは、株主・投資主様と一緒にJリーグ全クラブを応援し、地域創生への貢献を目指します



【プレミアム優待】
Jリーグ30周年記念イベントご招待
(2023年5月14日開催)
フラッグベアラーとしてセレモニー参加
+スペシャルマッチ観戦



投資主価値の最大化に向けた取り組み

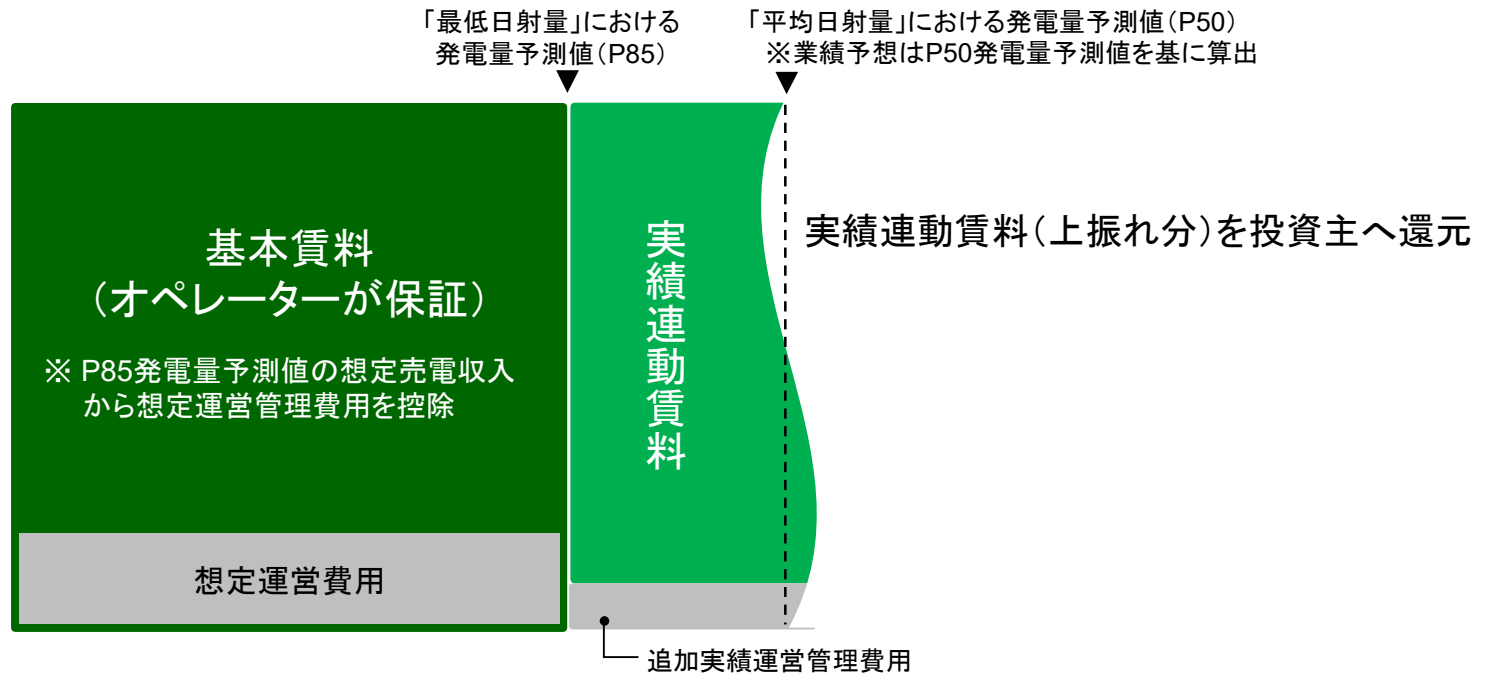
オペレーターによる最低賃料保証

FIT(固定価格買取制度)を裏付けとした「安定利回り商品」

- ✓ 売電収入から事業運営費用を控除した全額が投資法人の収入
- ✓ 発電実績の上振れ分を投資主への還元原資に充当出来るスキーム
 - 最低保証日射量で計算される投資法人の売電収入(基本賃料)をオペレーターが保証
 - 各発電所は、火災保険、地震保険、利益保険、損害賠償保険を付保

※ 地震保険の付保は、第三者による調査の結果、一定程度の被害が想定される発電所に限る

■ オペレーターの賃料保証について



各発電所の気候や地形に対応した設計による高効率発電

きめ細かい個別設計により発電効率をアップ

- ✓ 積雪対応(北海道)：架台を高く設置、パネル角度を30度に設定(通常平地10度)
- ✓ 強風対応(香川県)：土地の形状にあわせて数種類の架台を設置
- ✓ 台風対応(沖縄県)：綿密な荷重計算により設置場所に応じ架台を強化
(最大で風速60Mの強風に耐えられる設計)



いちご遠軽東町ECO発電所
(北海道紋別郡)



いちご高松国分寺町新居ECO発電所
(香川県高松市)

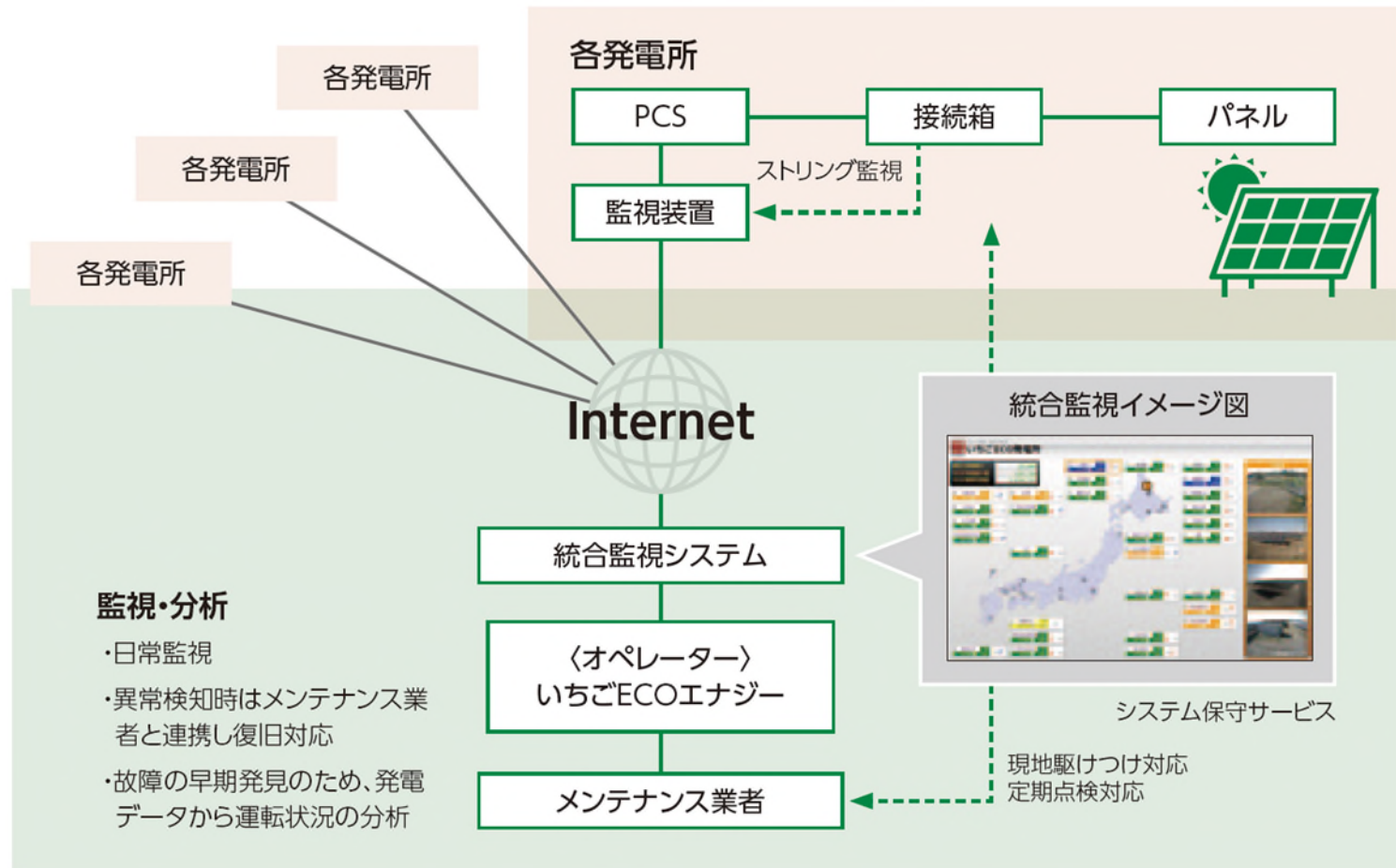


いちご名護二見ECO発電所
(沖縄県名護市)

高度技術に支えられたオペレーション

統合監視システムにより、リアルタイムで発電所の稼働状況をチェックし、故障および劣化の早期発見を実現することにより、発電ロスを最小化

- ✓ 太陽光パネルを列ごとに管理するistring監視システムを導入



世界トップクラスの透明性を有するリアルタイム開示

発電量、CO2削減量、現地の様子をリアルタイムでHP公開

いちご名護二見ECO発電所
Ichigo Nago Futami ECO Power Plant



本発電所は、沖縄県北部「山原（やんばる）」と呼ばれる自然豊かな地域である名護市二見に建設されており、事業用地を、名護市より借り受けています。使用パネル枚数は、32,144枚、パネル出力は約8.44MWであり、一般家庭約2,750世帯分の消費電力を賄うことが出来るメガソーラーです。

今日の ECO発電量	13,580 kWh
今日の CO2削減量	8,962 kg-CO ₂

ライブカメラで現地の様子をご覧いただけます

[ライブカメラ](#)

国内インフラ資産（太陽光発電所）の取得完了のお知らせ (2016年12月01日) (919KB)



WEBカメラによる発電所の様子

いちごグリーンインフラ投資法人
Ichigo Green
いちごグリーンインフラ投資法人

日本を世界一豊かに。
いちごグリーンインフラ投資法人

今日のグリーン発電量
47,295 kWh

Investment In
Japan's Green Infrastructure

いちごグリーンインフラ投資法人（証券コード 9282）は、今後さらなる拡大が期待される「グリーンインフラ」という新たなアセットタイプへの投資機会を提供し、長期にわたる安定性と成長性の両面を追求した運用を通じて投資主様の最大化を目指します。グリーンインフラに特化した本投資法人の成長は、わが国の投資市場の発展に貢献するとともに、地球に優しく安全性にすぐれたわが国のグリーンエネルギー自給に資するものと考えています。

[お問い合わせフォームはこちら](#)

保有資産状況 (2020年6月30日時点)		分配金	
太陽光発電所数	15 発電所	2020年6月期（実績）	3,802 円
合計パネル出力	29.43 MW	2021年6月期（予想）	3,820 円
CO2年間削減量	22,520 トン		

【いちごグリーンHP】 www.ichigo-green.co.jp

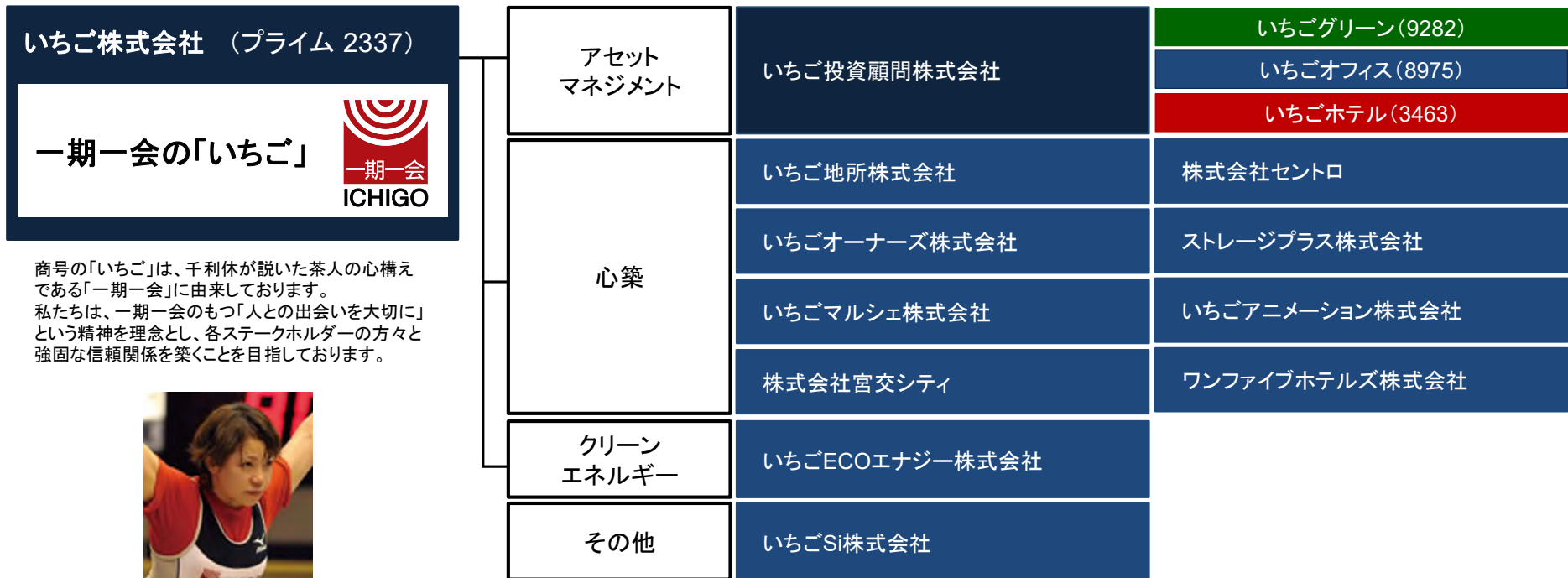
いちごグループの強みを活かした成長戦略

スポンサー サステナブルインフラの「いちご」

- インフラ投資法人、Jリーートの運用等のアセットマネジメント、心築(しんちく)、クリーンエネルギー等の事業を展開
- 不動産・建築技術を活かし、現存不動産に新しい価値を創造する「心築」事業が強み
- 太陽光および風力発電、環境負荷軽減やスポーツ支援(ウエイトリフティング、ライフル射撃、陸上、Jリーグトップパートナー)等も積極的に推進



©J.LEAGUE



商号の「いちご」は、千利休が説いた茶人の心構えである「一期一会」に由来しております。私たちは、一期一会のもつ「人との出会いを大切に」という精神を理念とし、各ステークホルダーの方々と強固な信頼関係を築くことを目指しております。

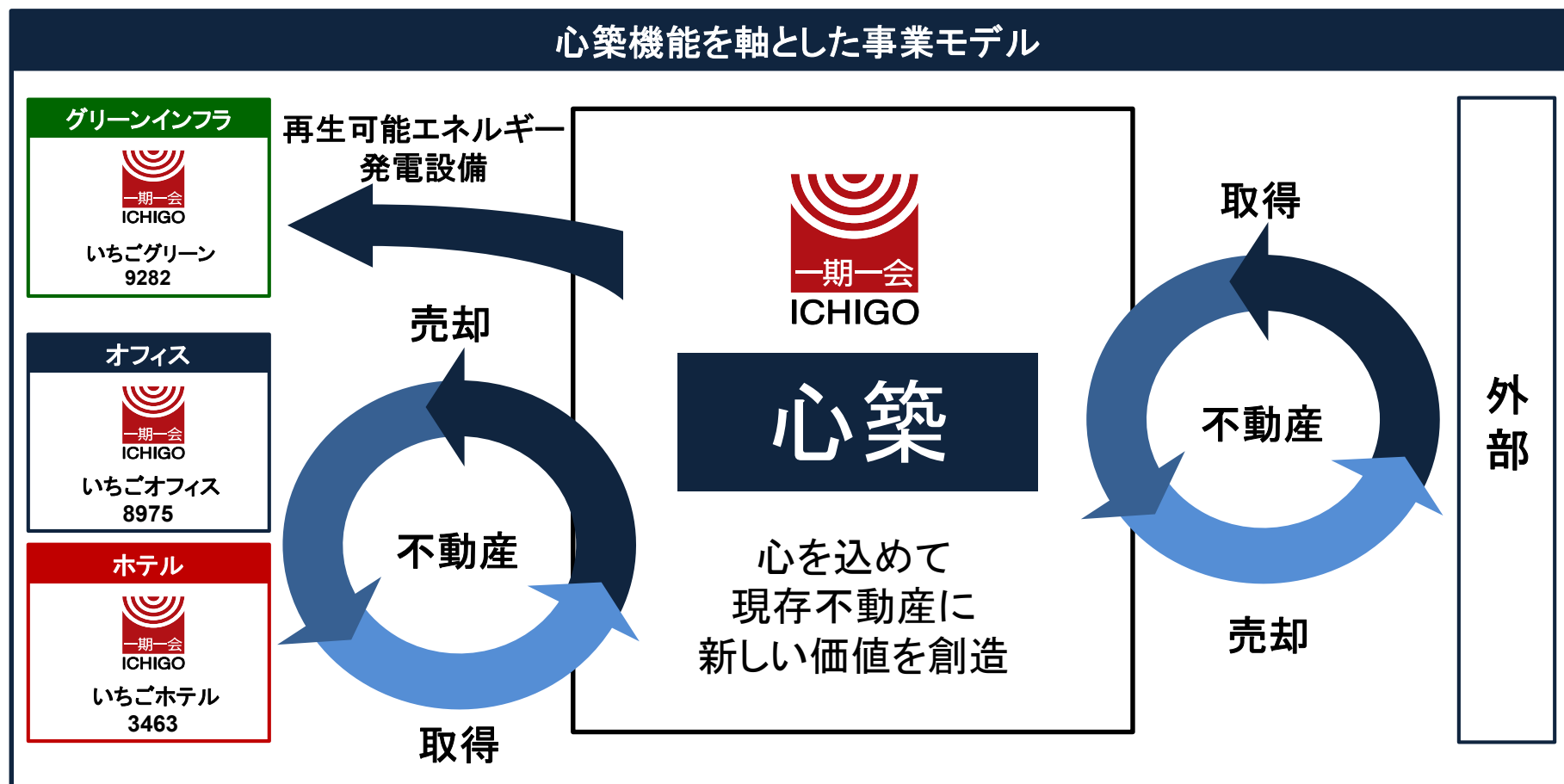


三宅宏実
(ウエイトリフティング)



いちごグリーンとスポンサーのシナジー

- クリーンエネルギー事業を営むいちごグループによる継続的な発電所の供給が可能
- いちごECOエナジーの開発と運営実績に裏付けされた高度技術によるオペレーション
- 資産運用の豊富な実績を有するいちご投資顧問の専門知識やノウハウを活用



いちごグループによるクリーンエネルギー事業の全国展開

地域経済振興と環境に優しいクリーンエネルギー事業により地域活性化

2023年7月13日現在

■ 売電開始もしくは開発確定

64発電所 188.2MW

現時点売電開始済

63発電所 174.1MW

沖縄	
いちご名護二見ECO発電所	8.44MW

九州地方	
いちご都城安久町ECO発電所	1.44MW
いちご木城高城ECO発電所	0.89MW
いちご糸島井原ECO発電所	1.48MW
いちご都城高崎町東霧島ECO発電所	2.96MW
いちごえびの末永ECO発電所	13.99MW
合計	20.78MW

中国地方	
いちご山口秋穂西ECO発電所	1.24MW
いちご山口佐山ECO発電所	2.35MW
いちご米子泉ECO発電所	2.61MW
いちご笠岡拓海町ECO発電所	1.11MW
いちご府中上下町矢野ECO発電所	0.99MW
いちご世羅津口ECO発電所	2.54MW
いちご世羅青水ECO発電所	2.87MW
いちご東広島西条町田口ECO発電所	2.72MW
いちご笠岡岩野池ECO発電所	2.64MW
いちご呉安浦町中畑ECO発電所	2.90MW
いちご笠岡尾坂池ECO発電所	2.66MW
いちご笠岡井立池ECO発電所	2.66MW
いちご世羅下津田ECO発電所	2.93MW
合計	30.28MW

関西地方	
いちご泉南狐池ECO発電所	2.86MW
いちご高島朽木ECO発電所	3.74MW
いちご神戸ポンプ池ECO発電所	2.73MW
合計	9.34MW

中部地方	
いちご豊川御津町佐脇浜ECO発電所	1.80MW
いちご土岐下石町ECO発電所	1.39MW
いちご津ECO発電所	2.94MW
いちご土岐鶴里町柿野ECO発電所	1.31MW
いちご坂祝深萱ECO発電所	2.89MW
いちご土岐鶴里町柿野東ECO発電所	1.67MW
いちご美濃加茂蜂屋町上蜂屋ECO発電所	1.29MW
いちご瀬戸定光寺町ECO発電所	1.45MW
いちご辰野町澤底ECO発電所	0.74MW
いちご駒ヶ根赤穂南ECO発電所	0.74MW
いちご駒ヶ根赤穂北ECO発電所	0.39MW
いちご大府吉田町ECO発電所	1.00MW
いちご上田吉田池ECO発電所	1.16MW
合計	18.85MW

四国地方	
いちご高松国分寺町新居ECO発電所	2.43MW
いちご伊予中山町出淵ECO発電所	1.23MW
いちご徳島東沖州ECO発電所	2.52MW
合計	6.19MW

北海道	
いちご元紋別ECO発電所	1.40MW
いちご遠軽東町ECO発電所	1.24MW
いちご遠軽清川ECO発電所	1.12MW
いちご安平遠浅ECO発電所	1.16MW
いちご室蘭八丁平ECO発電所	1.24MW
いちご豊頃ECO発電所	1.02MW
いちご中標津緑ヶ丘ECO発電所	1.93MW
いちご湧別芭露ECO発電所	0.80MW
いちご別海川上町ECO発電所	0.88MW
いちご厚岸白浜ECO発電所	0.80MW
いちご豊頃佐々木町ECO発電所	0.60MW
いちご芽室西士狩ECO発電所	1.32MW
合計	13.57MW

東北地方	
いちご浜中牧場鶴児平ECO発電所	2.31MW
いちご浜中牧場鍛冶林ECO発電所	2.31MW
(風力)いちご米沢板谷ECO発電所	7.39MW
合計	12.01MW

関東地方	
いちご桐生奥沢ECO発電所	1.33MW
いちご前橋苗ヶ島ECO発電所	0.67MW
いちご昭和村生越ECO発電所	43.34MW
いちご取手下高井北ECO発電所	1.03MW
いちご取手下高井南ECO発電所	0.54MW
いちごみなかみ新巻ECO発電所	12.02MW
いちご常陸大宮ECO発電所	2.99MW
いちご鉢田青柳ECO発電所	2.48MW
いちご取手下高井西ECO発電所	2.84MW
いちご千葉若葉区大宮町西ECO発電所	0.74MW
いちご千葉若葉区大宮町東ECO発電所	0.74MW
合計	68.78MW

- いちごグリーン(9282)
- いちご(2337)
- いちご(2337) - 開発中



ESG(環境・社会・ガバナンス)へのコミットメント



いちごのサステナビリティ方針

□ 環境との調和

- ✓ 事業が地球環境に与える影響を的確に把握し、環境への負荷を最小限とするよう積極的に取り組みます

□ 省エネルギー、低炭素化と資源循環

- ✓ 事業の遂行にあたっては、エネルギー使用量の削減、施設等の長寿命化、節水、廃棄物の削減・リサイクル等に努め、また、グリーン調達を推進し、低炭素社会と資源循環型社会の実現を目指します

□ 法令適応と環境管理体制の整備

- ✓ 環境に関わる法規制や、自ら受け入れを決めたその他の環境に関わる要求事項を順守し、環境保全に努めます
また、法規制等の動向を常に注視し、その変化に適応します

□ 教育・啓発活動

- ✓ 当方針を全役職員に周知し、意識の向上を図るとともに、サステナビリティに関する教育・啓発活動を推進します

□ サステナビリティ活動の開示等

- ✓ 本方針やサステナビリティに関する活動の情報開示に努め、広く社会とのコミュニケーションを図ります
また、サステナビリティに関する認証等の取得に継続的に取り組みます

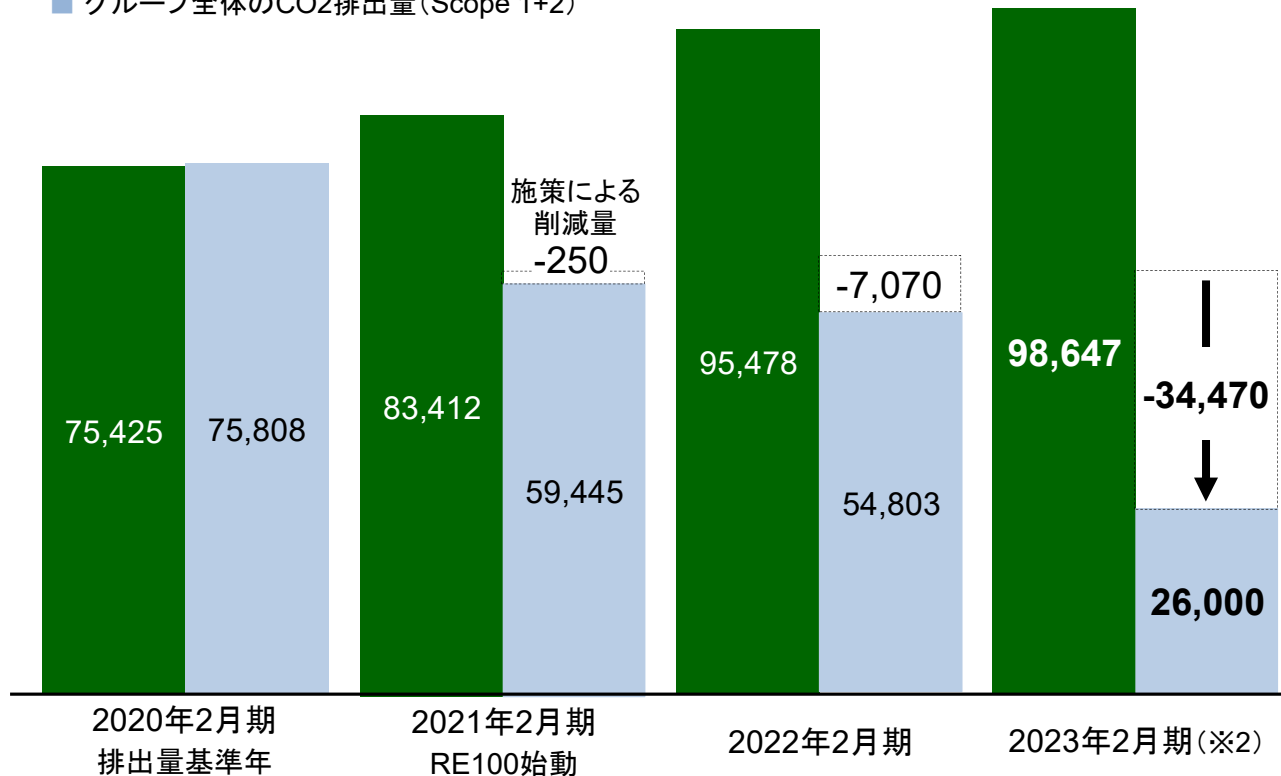
いちごのクライメート・ポジティブ (CO2削減量 / 排出量比較)

クリーンエネルギー事業の成長 (CO2削減量の増加) と
再生可能エネルギー由来の電力へ切替・オフセット (CO2排出量の削減) を推進

CO2削減量 / 排出量削減効果 / 排出量の推移

(単位:t-CO2)

- クリーンエネルギー事業によるCO2削減量(※1)
- グループ全体のCO2排出量 (Scope 1+2)



CO2削減施策

<従前からの施策>

- ① 再生可能エネルギーへの切替
28,900 t-CO2
- ② 省エネ化
(LED化、空調機器高効率化)
870 t-CO2

<いちごならではの施策>

- ③ いちご発電所由来の
トラッキング付非化石証書(※3)
取得
4,700 t-CO2

(※1) 環境省が公表する毎年3月1日時点の各電力会社の調整後排出係数を、それぞれの事業期間ごとの年間固定値として算出(発電量×排出係数)

(※2) 2023年2月期のCO2削減効果、CO2排出量実績は集計中のため予測値を記載

(※3) 非化石電源由来の電気が持つ環境価値が証書化され、RE100対応が可能となるよう発電所所在地等の属性情報(トラッキング情報)が付与されたもの

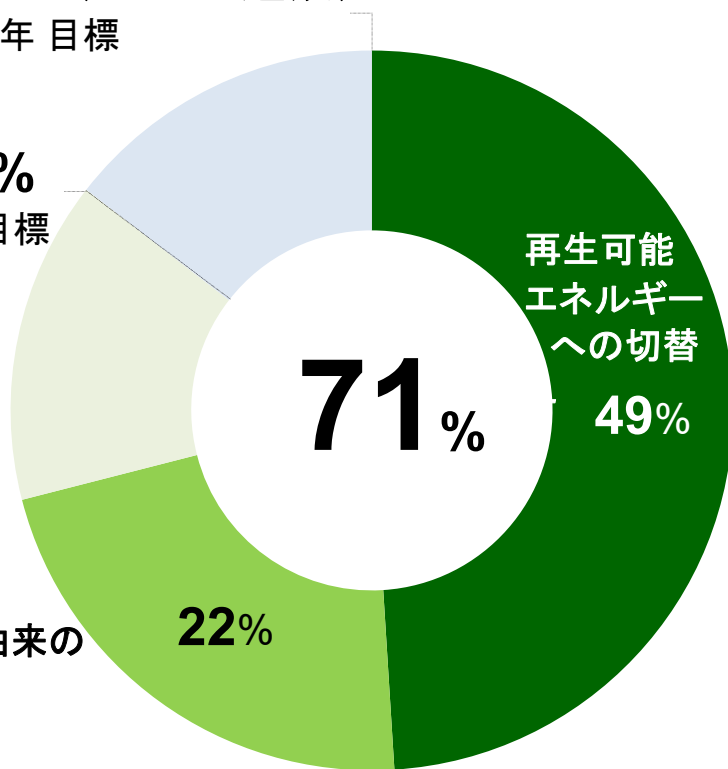
サステナブルな社会へ向けた再生可能エネルギーへの切り替え

■ RE100達成率と手段の内訳 (2023年5月末時点)

100% (RE100達成)

2025年 目標

85%
今期目標




いちご発電所由来の
トラッキング付
非化石証書

※ いちご、いちごオフィス、いちごホテルの実績(レジデンス除く)

■ 電力切り替え・カーボンオフセット効果 年間予測

CO2削減量 約**35,000** t-CO2

(※) グループ全体の年間CO2削減量予測

 × 約**15,200**台分 削減

(※) 乗用車(ガソリン車) 1台あたり約2,300kg/年 (環境省資料)

RE100

**CLIMATE
GROUP**



環境 (Environmental)

地球環境の保全に貢献し、環境負荷の低減に向けた取り組み

いちご
ESG



Environmental

■ 現存不動産の有効活用・価値最大化による、資源消費の少ない不動産モデルの確立

現存する建物や遊休地を、いちご独自の心築技術により、最有効活用。サステナブル社会の実現に向け、安心安全が100年持続する建物技術をオープンプラットフォームで研究開発し、公共インフラへのアプローチも含めた「100年不動産」にもチャレンジ

【いちごの「心築」】

建物を活かして新たな価値を創る



美観・快適性の向上
耐震補強
遵法性の治癒
環境対策・省エネ化

■ 遊休地を活用したクリーンエネルギー創出、地域への貢献

山林を無駄に切り崩さず、造成による水の被害が想定される土地は使用しない、そして地域住民の方々との十分な協議を行ったうえで着工する、という基本方針に則り、太陽光発電を主軸としたクリーンエネルギー事業を展開

【年間発電量】

222,927,029 kWh

約51,600世帯分の年間発電量

※ 年間消費電力量(国内平均)
4,322kWh/世帯(環境省資料)

※ いちご、いちごグリーンの2023年2月期実績



【年間CO2削減量】

98,647,576 t-CO2

自動車約43,000台分の
年間CO2削減量



※ 乗用車(ガソリン車)約2,300kg / 台・年(環境省資料)
※ いちご、いちごグリーンの2023年2月期実績

■ 環境認証

CASBEE、BELS、DBJ Green Building認証など、物件の環境性能に加え、GRESBも取得しており、ステークホルダーからの社会的要請への配慮等を含めた取り組みにより、社会インフラとして求められるスペックと運用体制の確保を推進

【環境認証の取得実績】(2023年7月13日時点)



いちご / いちごオフィス(8975)
計16物件



いちごオフィス(8975)
3 Star / Green Star



いちごホテル(3463)
2 Star / Green Star

BELS : 3物件

DBJ Green Building 認証 : 2物件

東京都中小低炭素モデルビル : 8物件

社会 (Social)



「サステナブル社会」の実現に向けた、グループ全体の取り組み

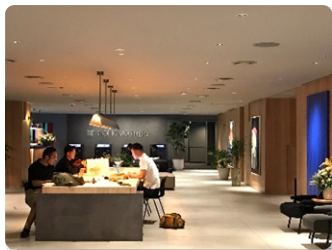
■ 地域活性化への貢献

地域独自の魅力を集約した観光拠点の創出、不動産・クリーンエネルギー事業を通じた地域雇用の創出、地域活動支援による防災性能や景観対策への貢献など、本業を通じた形の地域活性化を、関係者との持続的な共栄関係を築きながら推進



◀ 宮交シティ
商業施設 / 宮崎県
www.miyakocity.com

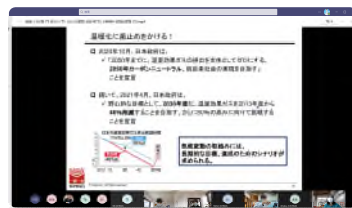
THE KNOT TOKYO ▶
Shinjuku
ホテル / 東京都
<https://hotel-the-knot.jp>



■ 「いちご大学」の運営

役職員一人ひとりが学び続けられる「いちご大学」を、2013年5月より企業内大学として開校
開催する講座では、専門性の高い役職員が自ら講師となり経験談や実績を踏まえた講義内容を展開するほか、外部専門講師を招へい
1年間の平均開講数 30回

【いちご大学の様子】



オンライン開催



オフライン開催
(コロナ前)

■ スポーツ支援

スポーツ支援の枠組みに限らない地域活性化への取り組みとして、Jリーグとトップパートナー契約を締結し、活動を支援。また、かねてよりウエイトリフティング部・ライフル射撃部・陸上部を創設し、可能性豊かなアスリートたちを社員として雇用、競技活動を支援



三宅宏実
(ウエイトリフティング)



清山ちさと(陸上)

「スポーツエールカンパニー」
(スポーツ庁)、
「スポーツ推進企業」(東京都)
に6年連続認定



いちごスポーツサイト www.ichigo.gr.jp/ichigosports



ガバナンス



徹底したガバナンス体制が、健全かつ効率的な運用を可能に

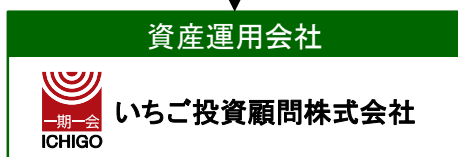
投資法人

■ 資産運用会社の執行をモニタリング

- 投資法人の役員は全員、資産運用会社およびいちごグループから独立した社外役員にて構成
- 執行役員を中心とした役員会での活発な議論により、運用会社への牽制機能を発揮



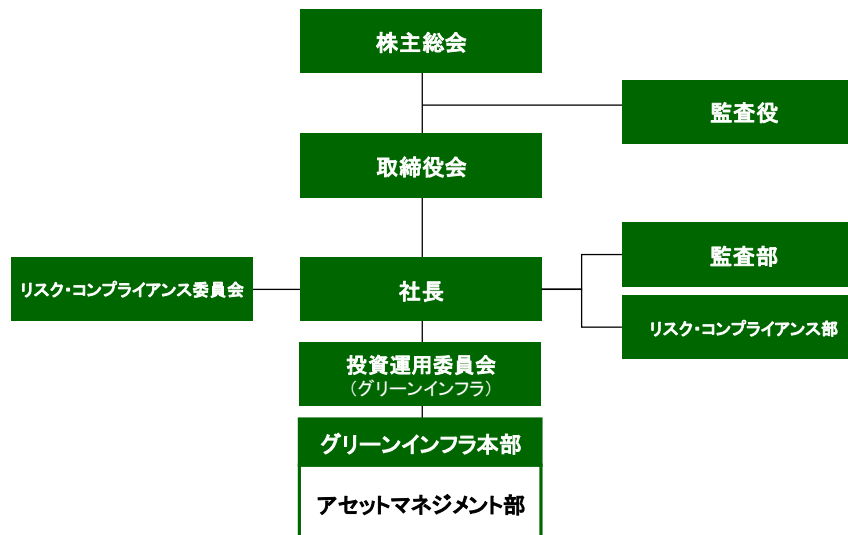
資産運用委託



資産運用会社

■ ベストプラクティスを目指す運用体制

- 取締役4名のうち、2名が社外取締役
- アセットマネジメント部を他業務から分離し、独立判断による最良執行を図る
- リスク・コンプライアンス部および監査部を社長直轄とし、法令順守・内部管理体制を確保
- 投資運用委員会、リスク・コンプライアンス委員会に外部有識者を入れることで、コンプライアンス運営の客観性を確保



ポートフォリオの状況

全国に分散した発電所

2023年6月30日現在

北海道から沖縄まで全国各地に所在

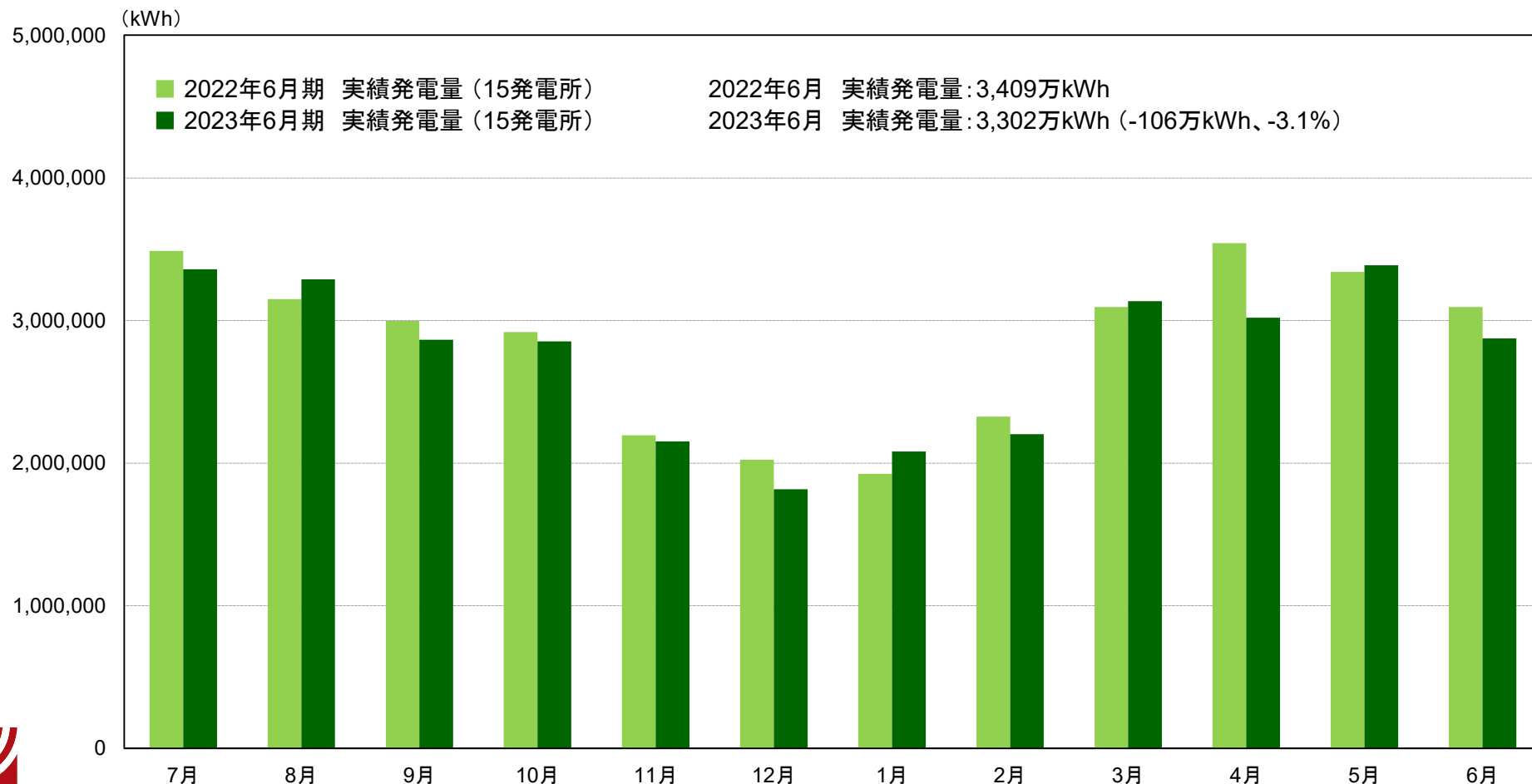


15発電所(約29MW)

2023年6月期 発電実績(対前年比)

期末時点の実績発電量は、前年同期比-3.1%

■ 実績発電量の比較



2023年6月期 個別発電所の収益

(単位:千円)

No.	発電所名	賃借人		いちごグリーン				
		売電収入	運営管理費用	営業収益	費用	NOI	減価償却費	損益
E-01	いちご桐生奥沢ECO発電所	61,203	15,969	45,233	2,556	42,677	29,806	12,870
E-02	いちご元紋別ECO発電所	64,118	13,136	50,981	2,614	48,367	29,599	18,767
E-03	いちご室蘭八丁平ECO発電所	57,874	12,126	45,747	2,465	43,282	27,818	15,463
E-04	いちご遠軽清川ECO発電所	49,471	11,493	38,327	2,093	36,234	23,618	12,616
E-05	いちご伊予中山町出淵ECO発電所	54,906	11,086	43,819	2,457	41,361	27,920	13,441
E-06	いちご中標津緑ヶ丘ECO発電所	90,126	14,260	75,866	4,347	71,518	43,766	27,752
E-07	いちご安平遠浅ECO発電所	54,266	10,662	43,604	2,470	41,133	25,048	16,085
E-08	いちご豊頃ECO発電所	48,137	9,046	39,090	2,438	36,651	24,652	11,998
E-09	いちご名護二見ECO発電所	333,729	63,904	※1 297,483	19,358	278,124	190,759	87,365
E-10	いちご遠軽東町ECO発電所	50,945	9,704	41,262	2,618	38,644	26,158	12,486
E-11	いちご高松国分寺町新居ECO発電所	108,023	10,705	97,317	5,932	91,384	54,576	36,807
E-12	いちご都城安久町ECO発電所	54,499	12,555	※2 43,654	2,887	40,766	28,558	12,208
E-13	いちご豊川御津町佐脇浜ECO発電所	69,758	24,143	45,614	3,138	42,476	28,714	13,761
E-14	いちご山口秋穂西ECO発電所	59,732	11,678	48,053	3,715	44,338	26,318	18,019
E-15	いちご山口佐山ECO発電所	110,200	17,452	92,748	6,162	86,585	50,866	35,718
合計		1,266,993	247,929	1,048,805	65,258	983,547	638,183	345,363

※1 いちご名護二見ECO発電所(E-09):最低保証日射量に基づく発電量予測値を下回ったため、オペレーターによる基本賃料の保証が発生(保証履行額27,657千円)

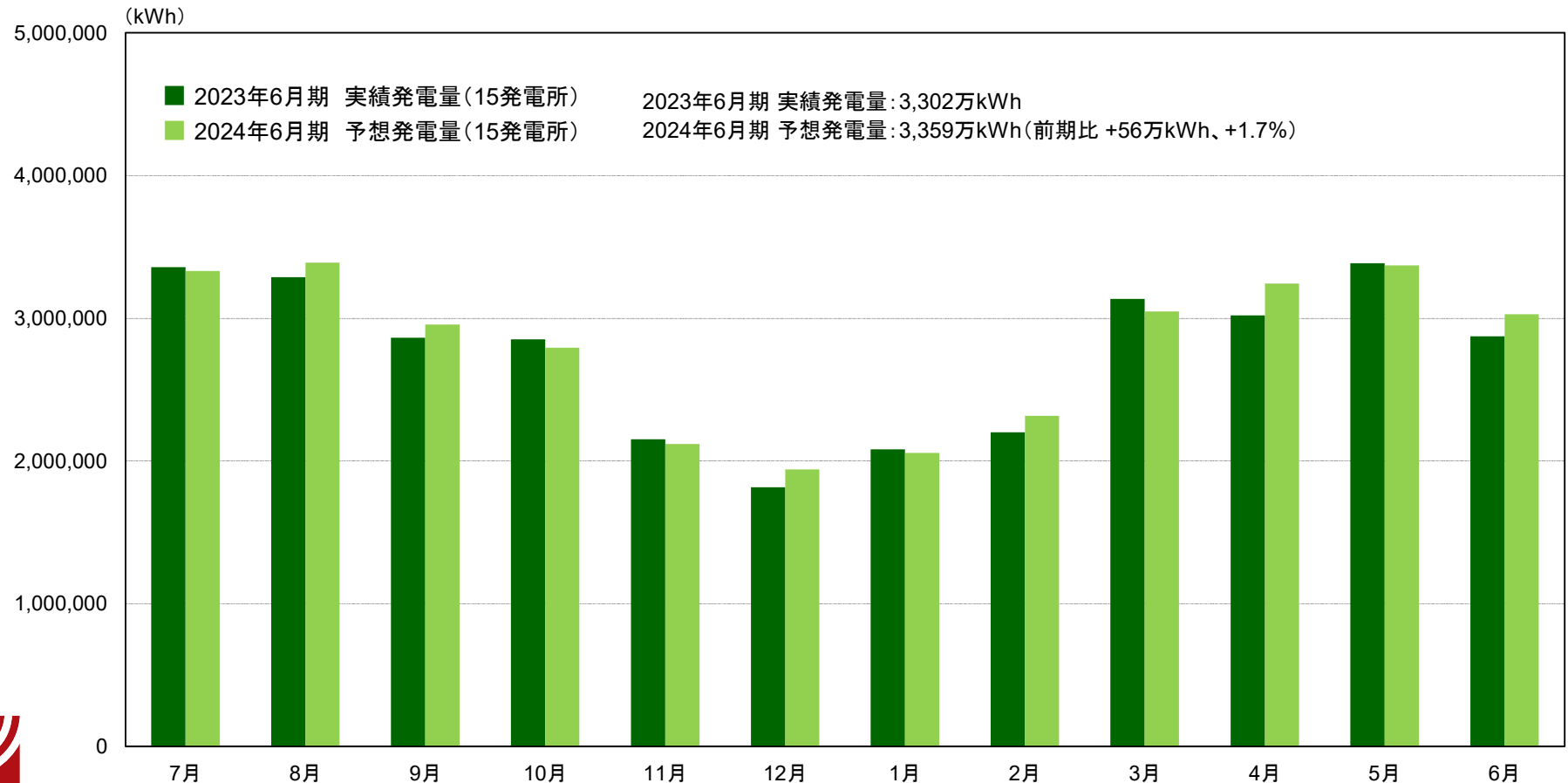
※2 いちご都城安久町ECO発電所(E-12):最低保証日射量に基づく発電量予測値を下回ったため、オペレーターによる基本賃料の保証が発生(保証履行額1,710千円)

2024年6月期 予想発電量

2024年6月期の予想発電量(P50発電量予測値)は3,359万kWh

【ご参考】2023年6月期実績発電量: 3,302万kWh

■ 2023年6月期実績発電量と2024年6月期予想発電量の比較



※ 本グラフは、2023年6月期の実績発電量(■)と、2024年6月期の予想発電量(P50発電量予測値、■)を比較したものです

発電所一覧

(2023年6月30日時点)

No.	発電所名	所在地	取得時期	帳簿価格 (百万円)	評価額 (百万円)	パネル出力 (MW)	売電価格 (円 / kWh)	投資比率 (%)
E-01	いちご桐生奥沢ECO発電所	群馬県桐生市	2016年12月	306	359	1.33	40	4.02%
E-02	いちご元紋別ECO発電所	北海道紋別市	2016年12月	316	380	1.40	40	4.15%
E-03	いちご室蘭八丁平ECO発電所	北海道室蘭市	2016年12月	299	356	1.24	40	3.93%
E-04	いちご遠軽清川ECO発電所	北海道紋別郡遠軽町	2016年12月	253	292	1.12	40	3.33%
E-05	いちご伊予中山町出淵ECO発電所	愛媛県伊予市	2016年12月	302	372	1.23	40	3.97%
E-06	いちご中標津緑ヶ丘ECO発電所	北海道標津郡中標津町	2016年12月	499	607	1.93	40	6.56%
E-07	いちご安平遠浅ECO発電所	北海道勇払郡安平町	2016年12月	288	352	1.16	40	3.78%
E-08	いちご豊頃ECO発電所	北海道中川郡豊頃町	2016年12月	283	352	1.02	40	3.72%
E-09	いちご名護二見ECO発電所	沖縄県名護市	2016年12月	2,225	2,716	8.44	40	29.19%
E-10	いちご遠軽東町ECO発電所	北海道紋別郡遠軽町	2016年12月	305	361	1.24	40	4.00%
E-11	いちご高松国分寺町新居ECO発電所	香川県高松市	2016年12月	788	914	2.43	36	10.35%
E-12	いちご都城安久町ECO発電所	宮崎県都城市	2016年12月	345	416	1.44	36	4.53%
E-13	いちご豊川御津町佐脇浜ECO発電所	愛知県豊川市	2016年12月	353	387	1.80	32	4.63%
E-14	いちご山口秋穂西ECO発電所	山口県山口市	2017年7月	404	450	1.24	40	5.31%
E-15	いちご山口佐山ECO発電所	山口県山口市	2017年7月	648	757	2.35	36	8.51%
合計(15発電所)				7,621	9,075	29.43	38.7	100.00%

※ 「評価額」は、2023年6月30日を評価基準日とするPwCサステナビリティ合同会社より取得したバリュエーションレポートに記載されたレンジによる評価額の中間値

※ 「パネル出力」は、各発電所に使用されている太陽光パネル1枚当たりの定格出力(太陽光パネルの仕様における最大出力)をパネル総数で乗じて算出

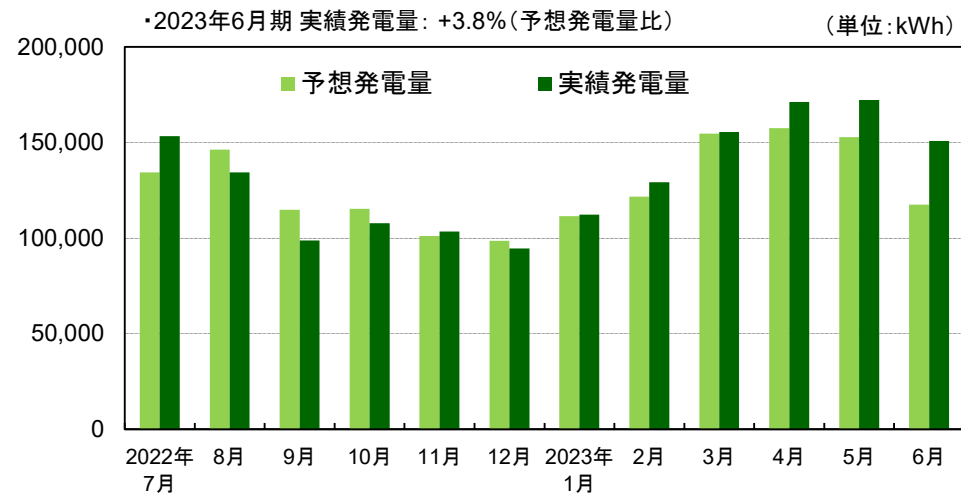
※ 「売電価格」は、固定価格買取制度のもとに決定した、電気事業者の買い取り価格

※ 「投資比率」は、帳簿価格ベース

個別発電所の概要

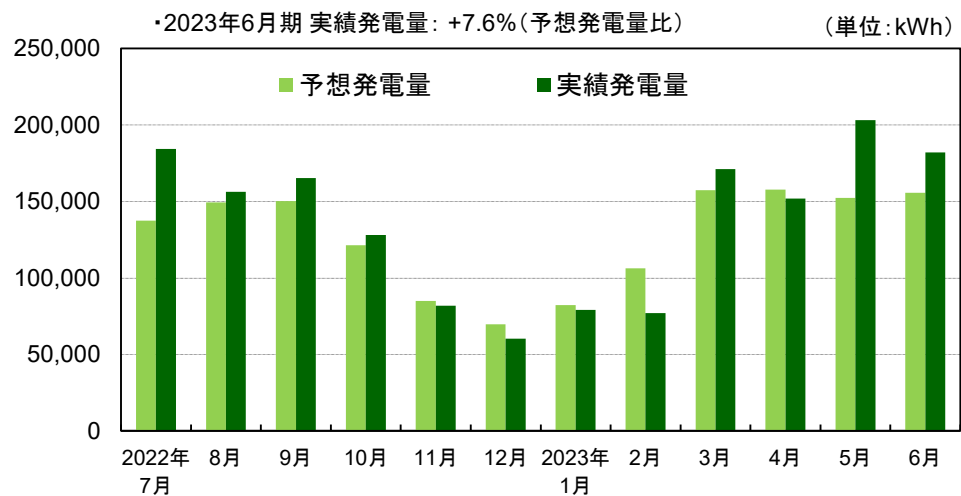
■ E-01 いちご桐生奥沢ECO発電所

所在地	群馬県桐生市 新里町奥沢字日光	
土地面積	27,588.00m ²	
運転開始日	2013年9月30日	
パネル出力	約1.33MW	
売電価格	40円 / kWh	
現売電契約 終了日	2033年9月29日	
売電先	東京電力エナジー パートナー(株)	



■ E-02 いちご元紋別ECO発電所

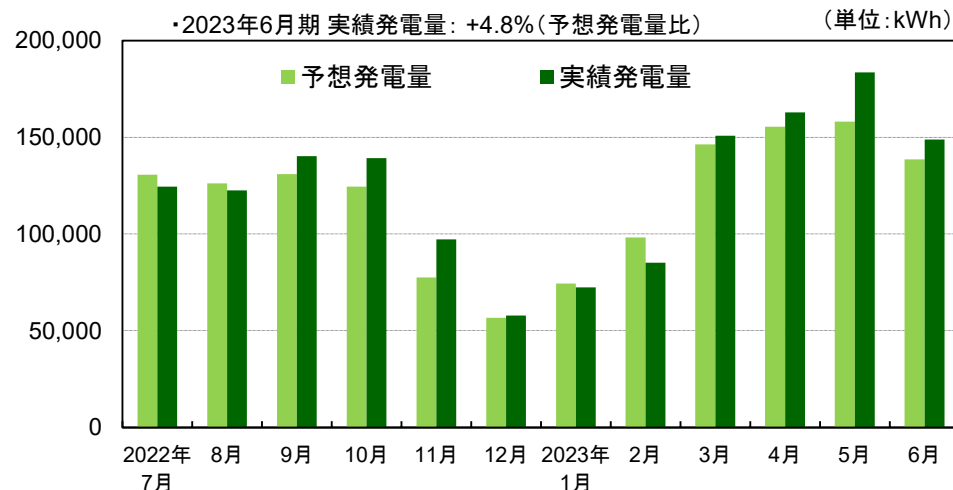
所在地	北海道紋別市元紋別	
土地面積	48,946.89m ²	
運転開始日	2014年2月3日	
パネル出力	約1.40MW	
売電価格	40円 / kWh	
現売電契約 終了日	2034年2月2日	
売電先	北海道電力(株)	



個別発電所の概要

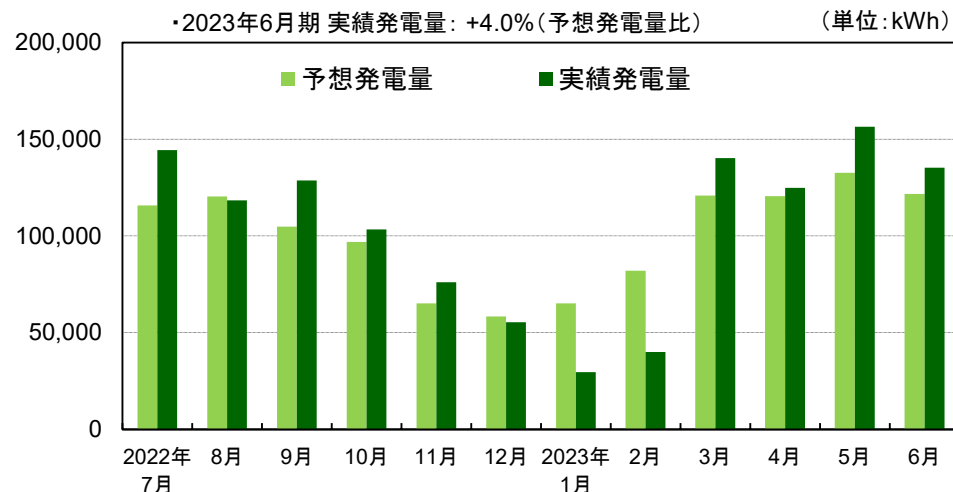
■ E-03 いちご室蘭八丁平ECO発電所

所在地	北海道室蘭市八丁平
土地面積	35,801.00m ²
運転開始日	2014年3月3日
パネル出力	約1.24MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約終了日	2034年3月2日
売電先	北海道電力(株)



■ E-04 いちご遠軽清川ECO発電所

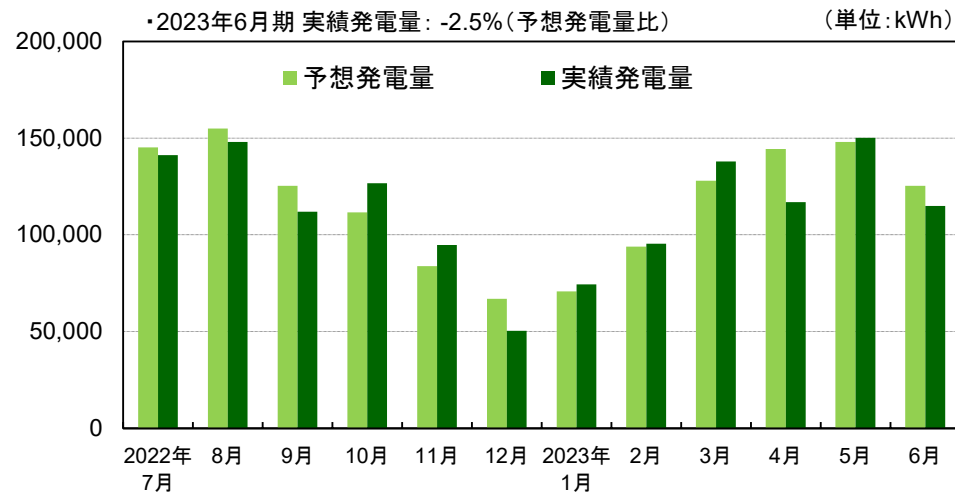
所在地	北海道紋別郡遠軽町清川
土地面積	27,164.16m ²
運転開始日	2014年3月4日
パネル出力	約1.12MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約終了日	2034年3月3日
売電先	北海道電力(株)



個別発電所の概要

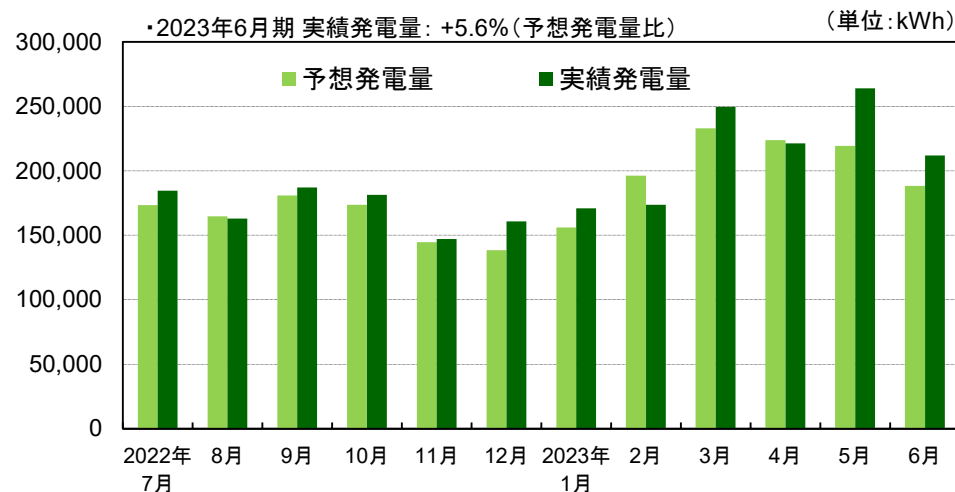
■ E-05 いちご伊予中山町出渕ECO発電所

所在地	愛媛県伊予市 中山町出渕
土地面積	26,260.77m ²
運転開始日	2014年4月2日
パネル出力	約1.23MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2034年4月1日
売電先	四国電力(株)




■ E-06 いちご中標津緑ヶ丘ECO発電所

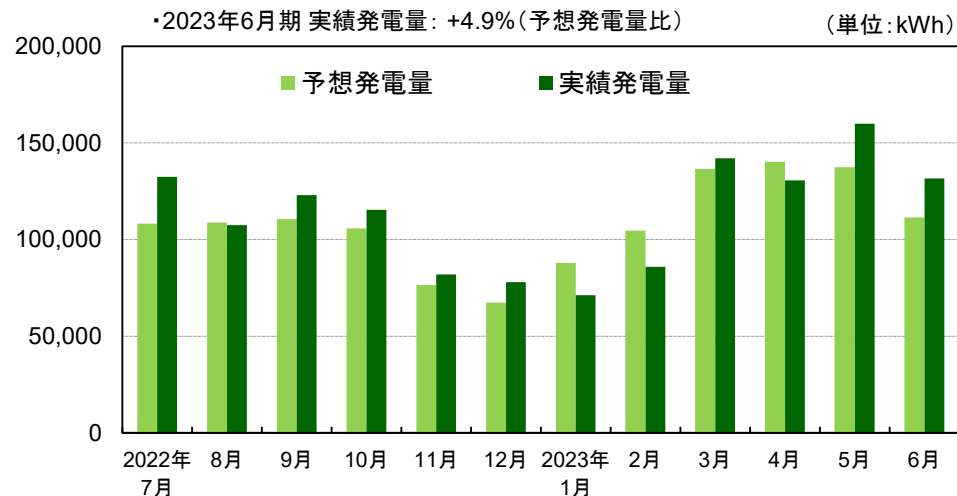
所在地	北海道標津郡 中標津町緑ヶ丘
土地面積	54,870.00m ²
運転開始日	2014年11月4日
パネル出力	約1.93MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2034年11月3日
売電先	北海道電力(株)




個別発電所の概要

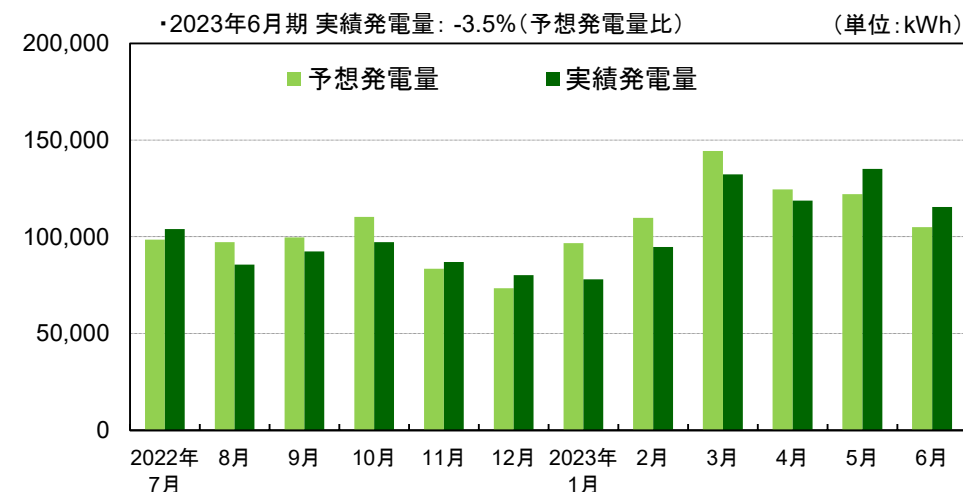
■ E-07 いちご安平遠浅ECO発電所

所在地	北海道勇払郡 安平町遠浅	
土地面積	29,730.72m ²	
運転開始日	2014年12月2日	
パネル出力	約1.16MW	
売電価格	40円 / kWh	
現売電契約 終了日	2034年12月1日	
売電先	北海道電力(株)	



■ E-08 いちご豊頃ECO発電所

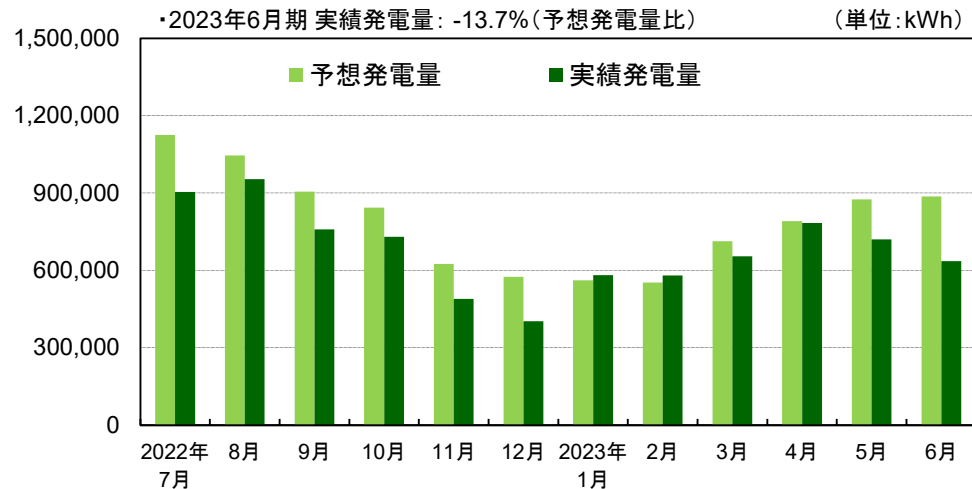
所在地	北海道中川郡 豊頃町豊頃	
土地面積	29,004.00m ²	
運転開始日	2014年12月4日	
パネル出力	約1.02MW	
売電価格	40円 / kWh	
現売電契約 終了日	2034年12月3日	
売電先	北海道電力(株)	



個別発電所の概要

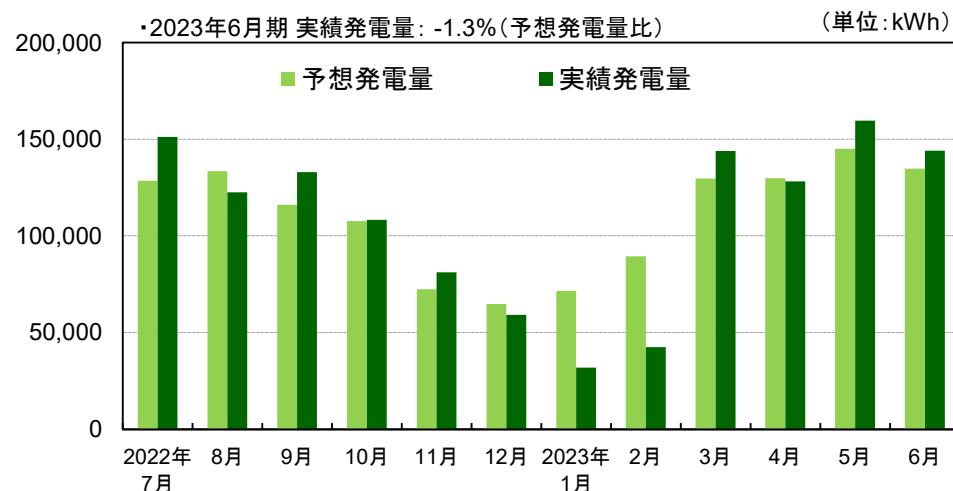
■ E-09 いちご名護二見ECO発電所

所在地	沖縄県名護市字二見
土地面積	146,217.00m ²
運転開始日	2015年2月2日
パネル出力	約8.44MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約終了日	2035年2月1日
売電先	沖縄電力(株)



■ E-10 いちご遠軽東町ECO発電所

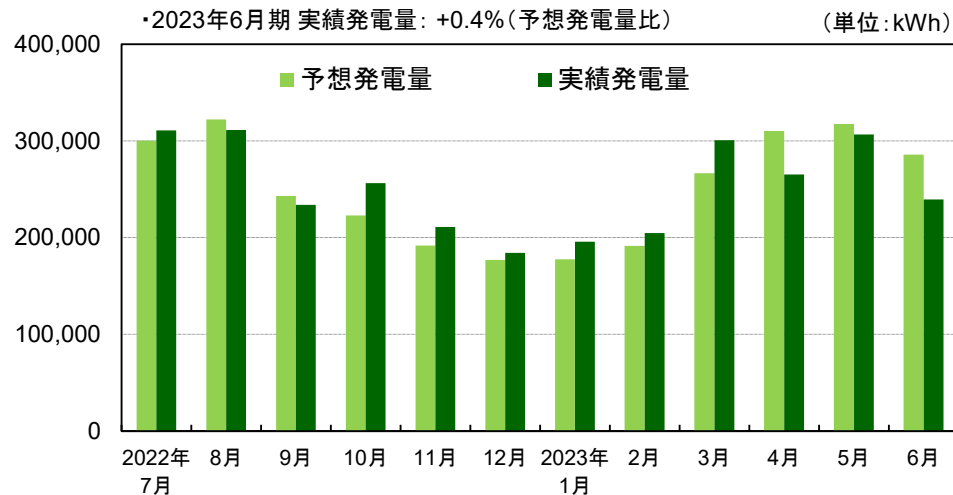
所在地	北海道紋別郡遠軽町東町
土地面積	46,329.00m ²
運転開始日	2015年2月3日
パネル出力	約1.24MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約終了日	2035年2月2日
売電先	北海道電力(株)



個別発電所の概要

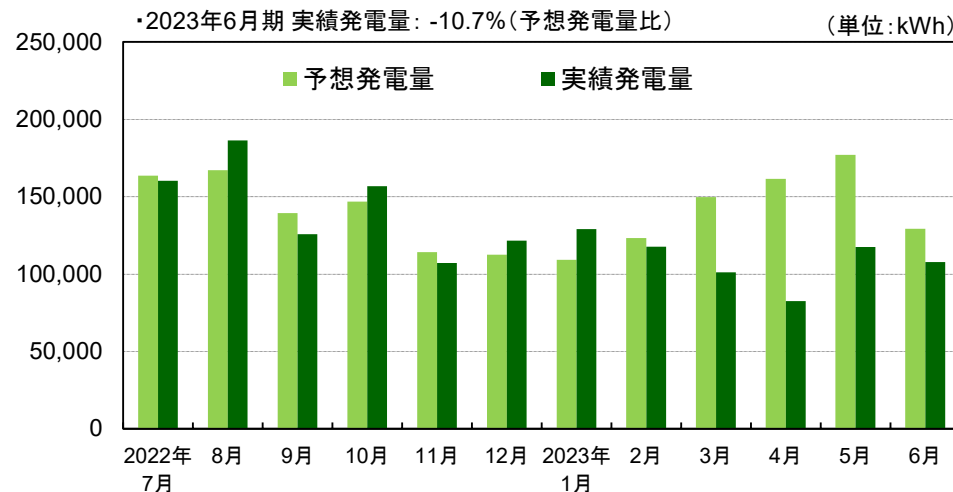
■ E-11 いちご高松国分寺町新居ECO発電所

所在地	香川県高松市 国分寺町新居
土地面積	79,340.00m ²
運転開始日	2015年6月2日
パネル出力	約2.43MW
売電価格	36円 / kWh
現売電契約 終了日	2035年6月1日
売電先	四国電力(株)



■ E-12 いちご都城安久町ECO発電所

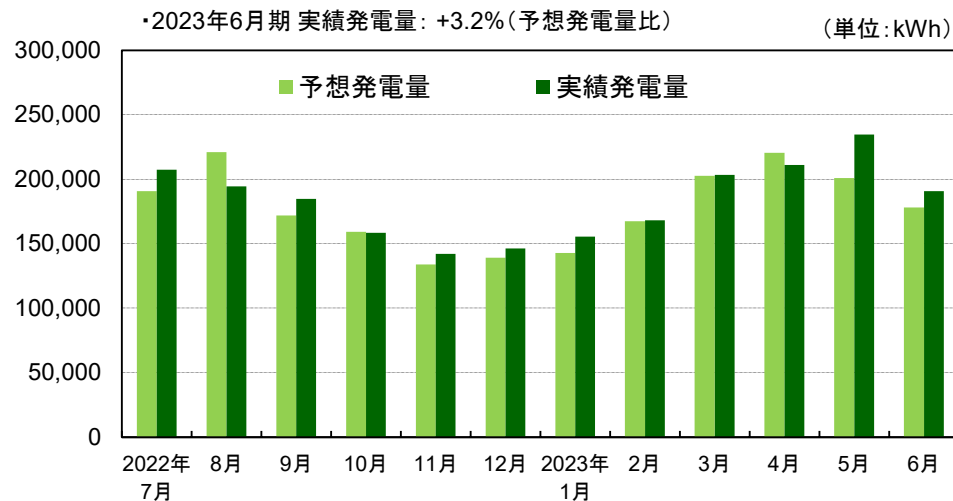
所在地	宮崎県都城市安久町
土地面積	94,165.00m ²
運転開始日	2015年7月8日
パネル出力	約1.44MW
売電価格	36円 / kWh
現売電契約 終了日	2035年7月7日
売電先	九州電力(株)



個別発電所の概要

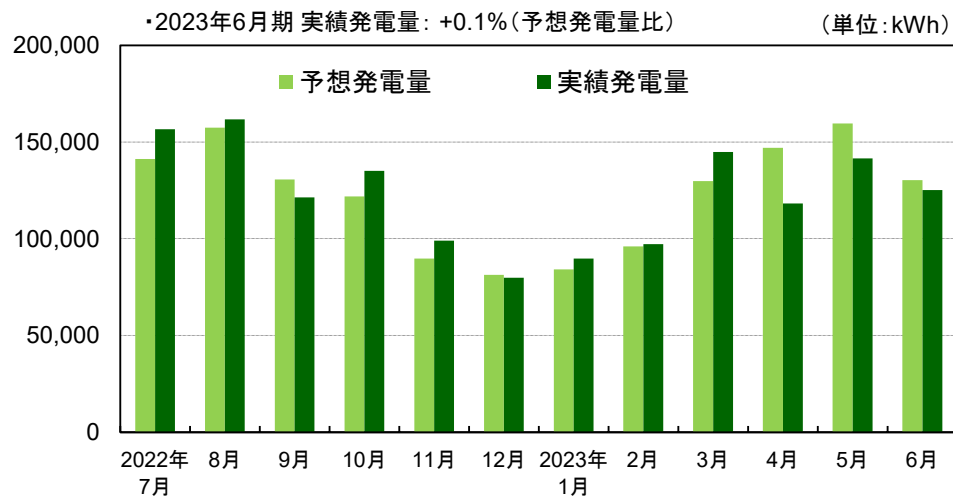
■ E-13 いちご豊川御津町佐脇浜ECO発電所

所在地	愛知県豊川市 御津町佐脇浜
土地面積	19,393.00m ²
運転開始日	2015年9月16日
パネル出力	約1.80MW
売電価格	32円 / kWh
現売電契約 終了日	2035年9月15日
売電先	中部電力ミライズ(株)




■ E-14 いちご山口秋穂西ECO発電所

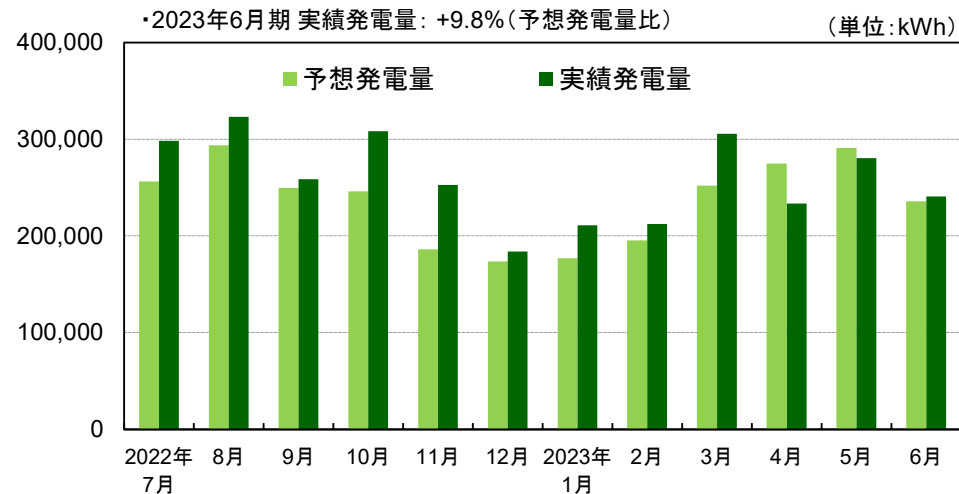
所在地	山口県山口市 秋穂西字南横浜
土地面積	19,815.38m ²
運転開始日	2015年12月7日
パネル出力	約1.24MW
売電価格	40円 / kWh
現売電契約 終了日	2035年12月6日
売電先	中国電力(株)



個別発電所の概要

■ E-15 いちご山口佐山ECO発電所

所在地	山口県山口市 佐山字浜附二	
土地面積	43,621.00m ²	
運転開始日	2016年4月6日	
パネル出力	約2.35MW	
売電価格	36円 / kWh	
現売電契約 終了日	2036年4月5日	
売電先	中国電力(株)	



Appendix

再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)とは

FIT(Feed-In Tariffの略)の概要

- ✓ 太陽光、風力等の再生可能エネルギーの普及に向け、一定の設備認定を受けた再生可能エネルギーにより発電された電気を電力会社との接続契約締結のうえ、固定価格にて買い取ることを国が約束する制度であり、一度適用された価格は調達期間(太陽光の場合20年)にわたって保証される
- ✓ 長期で保証されている買取価格(売電価格)は年度毎に見直され、接続申込日、系統関係に関する契約締結日等により決定される

■ 太陽光発電

年度 (4/1~3/31)	買取価格 (1kWh当り)	買取 期間
2012年度	40円	20年
2013年度	36円	20年
2014年度	32円	20年
2015年度(4/1~6/30)	29円	20年
2015年度(7/1~3/31)	27円	20年
2016年度	24円	20年
2017年度 以降	入札制へ 移行(※1)	20年

■ 風力発電 (陸上風力)

年度 (4/1~3/31)	買取価格 (1kWh当り)	買取 期間
2017年度(4/1~9/30)	22円	20年
2017年度(10/1~3/31)	21円	20年
2018年度	20円	20年
2019年度	19円	20年
2020年度	18円	20年
2021年度 以降	入札制へ 移行(※2)	20年

【ご参考】
いちごグリーンの
平均売電価格は38.7円

※1 2017、2018年度 2MW以上、
2019年度 0.5MW以上、
2020年度以降 0.25MW以上の非住宅用太陽光発電
※2 2021年度：0.25MW以上の陸上風力発電
2022・2023年度：0.05MW以上の陸上風力発電

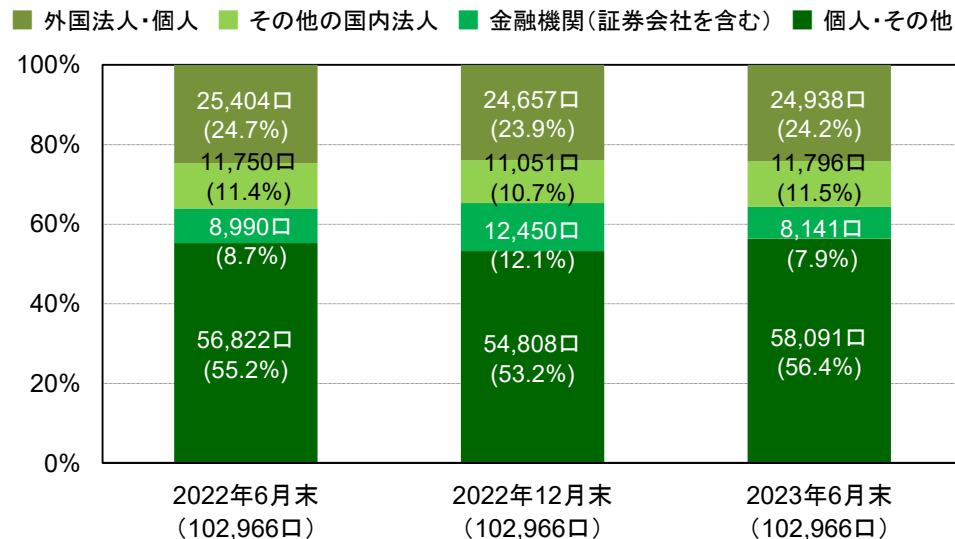
発電量10kW以上の設備にて発電された電力の買取価格(消費税別)
出典：経済産業省 資源エネルギー庁HP、新聞報道に基づき資産運用会社作成

投資主の状況(2023年6月30日時点)

■ 主要投資主

氏名または名称	所有投資口数	比率
1 いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	22,677	22.0%
2 いちご株式会社	6,000	5.8%
3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,850	3.7%
4 株式会社福岡銀行	1,323	1.3%
5 株式会社大谷アセットマネジメント	870	0.8%
6 富士電波工業株式会社	676	0.7%
7 有限会社プログレッション	653	0.6%
8 WU ASSETS PTE. LTD.	600	0.6%
9 楽天証券株式会社	567	0.6%
10 個人投資主	520	0.5%
合計	37,736	36.6%

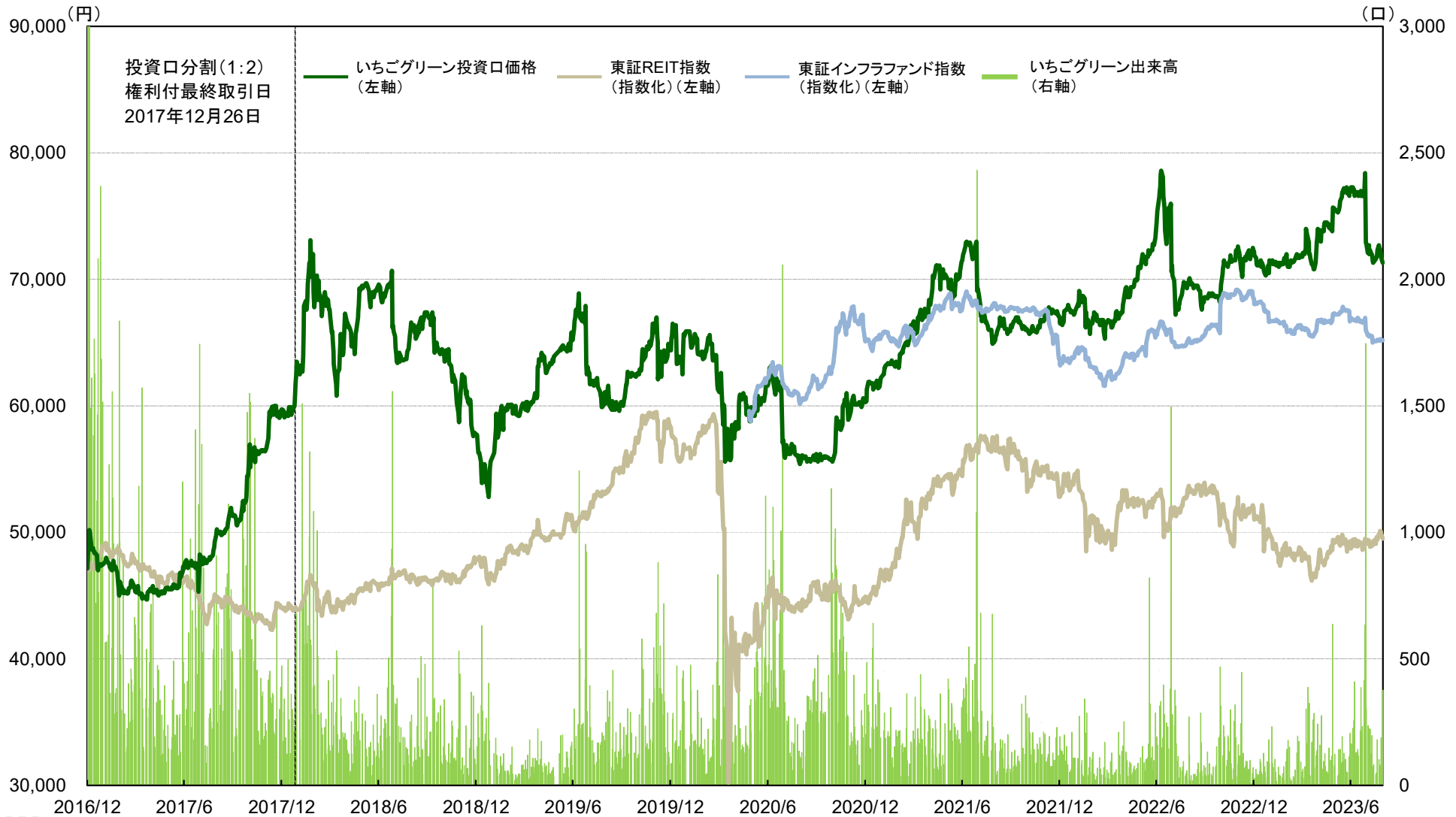
■ 所有者別投資口数



■ 所有者別投資主数

所有者区分	2022年6月末	2022年12月末	2023年6月末	
	投資主数	投資主数	投資主数	比率
個人・その他	7,896	7,778	8,039	98.1%
金融機関(証券会社を含む)	20	18	19	0.2%
都銀・地銀	2	2	1	0.0%
信託銀行	3	3	3	0.0%
その他(証券会社を含む)	15	13	15	0.2%
その他の国内法人	104	95	91	1.1%
外国法人・個人	39	40	46	0.6%
合計	8,059	7,931	8,195	100.0%

投資口価格の推移 (2016年12月1日～2023年7月31日)



※ 2018年1月1日を効力発生日とする投資口分割(1:2)を行っているため、本グラフの2016年12月1日から2017年12月26日までは、投資口価格は実際の価格に0.5を乗じた値、出来高は実際の値に2を乗じた値を表示

※ 東証REIT指数については2016年12月1日の本投資法人投資口価格(終値)を基準として指数化

※ 東証インフラファンド指数については2020年4月27日の本投資法人投資口価格(終値)を基準として指数化

(出所) Bloomberg



投資法人概要

2023年6月30日時点

■ 投資法人

名称	いちごグリーンインフラ投資法人
証券コード	9282
所在地	東京都千代田区内幸町1-1-1
執行役員	伊藤 菜々子
決算期	6月(中間決算期は12月)

■ 資産運用会社

会社名	いちご投資顧問株式会社
代表取締役社長執行役員	岩井 裕志
登録・加入協会	金融商品取引業 関東財務局長(金商)第318号 (投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業) 一般社団法人投資信託協会会員

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。本投資法人の投資証券のご購入にあたっては、各証券会社にお問い合わせください。
- 本資料の内容については、将来の予測に関する記述が含まれていますが、こうした記述は、将来の本投資法人の業績、経営成績、財政状態等を保証するものではありません。また、本資料の実際の業績は、さまざまな要素により、本説明会資料における見通しとは大きく異なる可能性があります。よって、これら見通しのみにより全面的に依拠することはお控えいただくようお願いします。
- 本資料は弊社が信頼するに足りるとされる各種情報に基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性および完全性を保証するものではありません。
- 予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承下さい。
- なお、弊社の事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製、転用等を行うことを禁止いたします。



Make More Sustainable
サステナブルインフラの「いちご」

【お問合せ】

いちご投資顧問株式会社

いちごグリーンIRデスク

TEL : 03-3502-4854

ir_green@ichigo.gr.jp

www.ichigo-green.co.jp

